



**安全衛生の
基本と心得**

児童保育提供者用ガイド

 **Learning to Grow**
MAKING A DIFFERENCE TOGETHER



安全衛生の基本と心得

児童保育提供者用ガイド

開発チーム

グレース・F・フォン教育学博士
メアリー・アン・ネモト教育学修士
アンジェラ・チョイ教育学修士
アン・トム教育学修士
ダナ・セナハ教育学博士
ジニー・デメロ教育学修士
アナリン・マカバンタド理学士
マリアヌヌ・ベリー教育学博士

謝辞

本書「安全衛生の基本と心得 児童保育提供者用ガイド」の編集にあたりご支援いただきました以下の方々に御礼申し上げます。

ゲイル・オモト
フレデリカ・ベイン
デニス・ローリウ
ジーナ・ルイス
アデイス・エッシェンベア博士

推薦引用文献：

Choy, A., Nemoto, M., Fong, G., Tom A., Senaha, D., Macabantad. A., et al. (2017).
Basic health and safety practices: Child care provider's guide (3rd ed.)
(安全衛生の基本と心得：児童保育提供者用ガイド【第3版】). Windward Community College, Learning to Grow Project (ウィンドワード・コミュニティ・カレッジ、学習成長プロジェクト)。

本書「安全衛生ガイド」は、ウィンドワード・コミュニティ・カレッジの学習成長プロジェクトと契約し、ハワイ州保健社会福祉省が支援・編集したものです。

© 2014、2015年改訂、2017

目次

序文	iv
衛生	1
子供の健康維持	2
子供の健康を毎日チェックする	3
予防接種	5
一般的な病気にかかった時の隔離手順	6
投薬	8
栄養と運動	9
衛生	11
手の洗い方	12
手袋の使用方法	14
おむつの替え方	16
クリーニング、除菌、および消毒の手順	18
安全	21
車の安全	22
チャイルドシートの安全	23
車での移動の手順	25
熱射病の予防	27
食物の安全性と保管	28
食物の安全性	29
食物アレルギー	30
母乳の安全な保存方法	32
子供の安全(チャイルドプルーフ)	33
育児の場での安全	34
中毒防止ガイド	36
水の安全	37
おもちゃと屋外遊具の安全性	38
おもちゃの安全性	39
遊び場の遊具の安全性	41
児童虐待・育児放棄	43
児童虐待・育児放棄の疑いのある場合の報告	44
揺さぶられっ子症候群の予防	45
安全な寝かせ方	47
安全に寝かせる方法	48
ベビーベッドの安全	50
緊急時の対応手順	52
応急処置・心肺蘇生法の手順	53
緊急時の備え	55
参考文献	57
付録	61

序文

子供たちは学び、育ち、成長するための能力を生まれながらに持っています。子供たちが、育ち、成長するためには、両親や児童保育提供者が安全で衛生的な環境を提供するか否かにかかっています。

安全衛生の基本と心得：児童保育提供者ガイドは、安全衛生に関する最良のやり方(ベストプラクティス)を行う指針となるよう作成されました。このマニュアルは、2つのセクション1)衛生と2)安全、に分かれています。各セクションで、子供たちの保育環境が衛生的で安全であるために、なぜその手順が重要であるかに重点をおきながら、特定のやり方・手順を詳しく説明しています。また、リソース、および参考になる書式はこのマニュアルの最後の付録に記載されています。このマニュアルは、Infant and Toddler Child Care Centers (IT Chapter §17-895), Family Child Care Homes (FCC Chapter §17.891), Group Child Care Centers and Group Child Care Homes (GCC/GCCH Chapter §17.892.1), Before and After School Care Child Care Facilities (BAS Chapter §17-896), and Child Care Services (CCS Chapter §17-798.3)に関するハワイ州保健社会福祉省の規定(HAR)を参考としており、当該ページ脚註に明記されています。

このマニュアルでは、「caregiver」、「child care provider」または、「care provider」、「child care environment」または「care environment」という用語が使われています。本書での「caregiver」、「child care provider」、または「care provider」という用語はいずれも生まれてから5歳までの幼児の保育を行う児童保育提供者をいいます。「child care environment」または「care environment」という用語は、保育を行う場所のことで、託児センター、託児所、児童保育提供者の家または子供の家での保育を言います。また、「parent」または「parents」という用語が使用されています。「親、両親」とは、子供の責任を持つ家族、または保護者のことを指します。

このガイドは衛生・安全についての知識を深め、実践することで、子供たちを安全で衛生的な環境で保育をする指針となるでしょう。



衛生

子供はあらゆる感覚を駆使し、積極的に世界を学ぼうとします。生まれながら冒険する意欲にあふれ、環境を知り、自分なりの学びを試みます。このプロセスは、感覚的な学習と呼ばれ、子供は、触感、味覚、食感または咀嚼により、遭遇した物を深く知ろうと試みます。これは、幼児の学習には重要ですが、細菌に触れたり、感染症の病気にかかる可能性があります。

子供が学び成長できるように、児童保育提供者は、安全で衛生的な環境を作り、維持する大切な役割を担っています。児童保育提供者が衛生管理と健康的な生活様式を徹底すれば、子供はその環境に適応していくでしょう。子供たちに、健康的な習慣やスキルを教え、実践させる機会を多く与えることで、子供たちに健康的習慣という大切な生きる知恵を身につけさせることができます。

この衛生の章には以下の内容が含まれています。

- 子供の健康維持
 - 子供の健康を毎日チェックする
 - 予防接種
 - 一般的な病気にかかった時の隔離手順
 - 投薬
 - 栄養と運動
- 衛生
 - 手の洗い方
 - 手袋の使用法
 - おむつの替え方
 - クリーニング、除菌、および消毒の手順

衛生

子供の健康維持

子供は成長するために健康でなければなりません。健康な子供は、学習し、次の段階に容易に進んでいくことができます。病気や感染症と戦う免疫システムは、7歳か8歳にならないと完全に確立しないので、幼児の健康を維持することは容易ではありません。幼児は免疫システムが未熟なため、病気にかかりやすく、成長や学習に支障をきたすことがあります。予防接種は子供の健康維持のために大切であり、重篤な感染症や合併症にならないよう子供を守るために保護者ができる大切なことです。

子供の健康を守る一つの方法として、毎日簡単な健康チェックの実施があります。定期的に健康チェックを行い、いつもの外観、行動に気をつけていれば、その変化により早く気づくことができます。子供の健康を守るもう一つの重要な方法は、一般的な小児疾患について学び、いつ病気の子供を他の子供から隔離するか、正しい投薬の仕方を学ぶことです。最後に、健康的な食生活と適度な運動を奨励すれば、子供の肥満や、それに伴う健康問題を予防することができます。子供の健康は、児童保育提供者の知識と、実践に大きく影響されると言えます。

子供の健康維持

子供の健康を毎日チェックする

なぜ重要なのでしょうか？

- 子供の病気を早期に特定すれば、児童保育提供者は子供の健康ニーズに適切に対応することが出来、他の子供への感染リスクを減らせます。

対応手順

1. 保護者が託児所に子供を預ける際に、毎日健康チェックを行います。健康チェックは、必要に応じて一日のうち随時行います。
2. 子供の目の高さに合わせて確認します。
3. 病気の症状・兆候がないか見ます：
 - 日常の気分や行動の変化
 - 元気があるか、活気がないか、だるそうにしているか
 - 鼻水、目やに、耳だれ、生傷があるか
 - 発疹、むくみ、烏肌、または赤みがあるか
 - 身体を掻いたり、引っばったり、つかんでいるか
 - 嘔吐や下痢があるか
4. 保護者から子供の病気、その他の病気について耳を傾ける。具合が悪い時に出す普段と違う声や言葉に耳を傾ける：
 - うめき声
 - 泣き止まない、異常にぐずる
 - 喘鳴、くしゃみ、呼吸困難
 - 声枯れ
 - 咳
5. 発熱や脱水症状か、皮膚を触る：
 - 湿り気を帯びている



continued on next page

子供の健康維持

子供の健康を毎日チェックする

continued from previous page

- 異常に暖かい
- 皮膚を少し押したときに戻らない

6. 病気によるいつもと異なる匂いの有無：

- 果物のような甘い息
- 口臭
- 尿や便の異常な臭い

7. 毎日の健康チェックリストで記録して下さい。(付録Aを参照して下さい)。上記のいずれかの症状が見られる場合、病気の可能性があり、以下の対応を適切に行う必要があります：

- 一日始め保護者が託児所に来る際、子供がどのような症状かを確認し、この病状が隔離を必要とする場合は保護者が子供を帰宅させ、その健康ニーズに対応してもらいます。(「一般的な小児の病気の隔離手順」を参照して下さい。)
- 子供が病気になる場合は、保護者に連絡し、病状の子供または感染の子供が隔離感を最限まで託児所に来る前に、医者診察が必要であるかもしれないことを保護者に伝えます。
- 児童虐待や虐待疑いがある場合は、ワシントン州保健省に報告して下さい。(「児童虐待放棄」のリソースを参照して下さい。)

HAR §17-891.1-21 (4), §17-891.1-23, §17-892.1-21 (3), §17-892.1-23, §17-895-22 (d), §17-895-23, §17-896-20 (c), §17-896-22 (b) (c)

子供の健康維持

予防接種

なぜ重要なのでしょうか？

- 予防接種は、子供を感染症から守ります。
- ワクチン接種は、多くの深刻な病気の蔓延を防止するための最も安全な科学的に実証された方法です。
- ワクチン効果を有効にするには、米国疾病対策予防センターの規定した予防接種のスケジュールに従って予防接種を受けることが重要です。

対応手順:

1. 国立予防接種の推奨事項および州予防接種要件を理解します。詳細については、以下のウェブサイトを参照して下さい：
 - 米国疾病対策予防センターが1歳から6歳までの子供に推奨する予防接種
<http://www.cdc.gov/vaccines/parents/downloads/parent-ver-sch-0-6yrs.pdf>
 - ハワイ州からの保護者の重要な知らせ。学校入学要件
<http://hawaii.gov/docd/requirements-by-grade/school-health-requirements-brochures/>
2. 託児所が州規制に準じたものであることを確認します。
3. 託児所が州規制に従うために、託児所登録前に必要な医療方針(予防接種、結核、身体検査など)を保護者が理解していることを確認します。
4. 「子供の健康を毎日チェック」を参考に、託児所での健康チェックを行いましょう。
5. 「一般的な子供の病気の排除の手順」に従い、子供がワクチンで予防可能な病気に感染している恐れがある場合の対応につき、判断します。



HAR §17-891.1-20 (1), §17-892.1-9 (6), §17-892.1-20, §17-895-8 (6), §17-895-20 (3), §17-896-19 (a)

子供の健康維持

一般的な病気にかかった時の隔離手順

なぜ重要なのでしょうか？

- 病気の子供を隔離することは、他の子供への感染を防ぐことができます。
- 一般的な子供の病気の症状を把握していれば、子供に適切な対応をすることができます。

対応手順:

1. 「子供の健康チェックを毎日行う」を参考に、託児所での健康チェックを行って下さい。
2. 病気の兆候を探します。詳細は、「一般的な小児疾患について」を参照して下さい。 <http://health.hawaii.gov/docd/dib/disease/#C>
3. 病気の兆候がある場合は、以下のようなことがあるか判断します：
 - 託児所での活動に楽しく参加できない
 - 他の子供達、またはご自分の健康と安全を犠牲にすることなく、病気の子供に対応することができない
 - 他の子供に感染するリスクがある

上記の条件のいずれに該当する場合は、病気の種類に関らずその子供は他の子供から隔離する必要があります。
4. 保護者が迎えにくるまで、子供を清潔で、安全で、目が届き、声が聞こえる所に置きます。
5. 病気の症状を子供の保護者に伝え、健康方針に従って下さい。(例：保護者に迎えに来るよう依頼する。)



continued on next page

一般的な病気にかかった時の隔離手順

continued from previous page

6. 保護者が迎えに着たら、託児所に戻る前に、医師の診察を受けるように伝えま
す。必要に応じて、かかりつけの医師宛に書面で子供の様子を記載したものを、
保護者に渡します。その記録には、発症した日時、症状、発症日時、観察、バイタ
ルサインと時刻 (例: 体温101.5 °F, 午前10時30分)、対処内容とその日時)を含み
ます。
7. 病気の子供が使った遊具、おもちゃは、他の子供が使う前に掃除し、消毒します。
「クリーニング、除菌、および消毒の手順」を参照して下さい。)

HAR §17-891.1-23 (d), §17-891.1 (10), §17-891.1-21, §17-892.1-6 (15), §17-892.1-23, §17-892.1-24,
§17-895-21 (d), §17-895-23 (a), §17-896-20, §17-896-22

子供の健康維持

投薬

なぜ重要なのでしょうか？

- ・ 薬（処方箋および市販薬）は、子供の健康に欠かせないものですが、不適切に使用すると危険です。
- ・ 薬を保管する場所は、子供の手が届かないところにします。

対応手順:

1. 薬を与える前に:

- 保護者が投薬管理に関する同意書提出していることを確認して下さい。
- 同意書のすべての情報が正確であることを確認します
- 子供が入れない薬保管場所から薬取出します
- 手をよく洗います。詳細は「手洗いの手順」を参照して下さい。
- 目の薬液・耳滴薬などの薬剤を使用の際は、プラスチック手袋をして下さい。
- 子供の箱薬有効期日・時刻・薬名・服用量を再度確認し、薬物に医師の指示が表示されていることを確認します。
- 指示通りに子供に薬を与えます。



2. 薬を与えた後に:

- 薬を与えた日時、服用量を記録します。
- 薬は、子供が入れない薬保管場所に戻します。
- 手をよく洗います。(詳細は「手洗いの手順」を参照して下さい。)
- 子供の薬に対する心配や副作用がある場合の内容を記録し、子供の保護者に連絡する必要がある場合は電話します。

HAR §17-891.1-23 (b)(1), §17-892.1-23, §17-895-23 (c), §17-896-22

子供の健康維持

栄養と運動

なぜ重要なのでしょうか？

- 過去30年間で幼児の肥満は、2倍以上になりました。2012年、ハワイの低所得者家族の2-4歳の幼児の10.2%は肥満症、他12.8%は太りすぎでした。
- 肥満の子供は成人しても肥満となり、2型糖尿病、骨・関節の異常、心臓疾患、がんが発生しやすくなります。

対応手順:

1. 乳児の食育

- 生後6ヶ月までは母乳のみを奨励します。母乳または鉄分を補強した人工乳を正しく哺乳瓶で飲ませます。

2. 栄養価の高い食物と飲み物のみを提供

- 子供と成人の食事計画(CACFP)に準じた食事やおやつにします。
- 砂糖、塩、防腐剤が余分に入った食物・飲み物は避けて下さい。



3. 特別なニーズを持つ乳児・子供を含めすべての子供が毎日活発な運動ができるようにします。

- 乳児が動けず環境に閉居する例腹に居る跳る転がる蹴る這う時間制限するぶら下りや他の座席座間短時間にするか、避けましょう。
- 幼児は、1日8時間あたり60-90分間活発に運動することが奨励されています。
- 未就学児童は1日8時間あたり90-120分間活発に運動することが奨励されています。
- 活発な運動は屋内および屋外での計画された活動や、自由な遊びを指します。
- お昼寝の静かな時間、休み時間を計画します。睡眠不足は肥満の原因です。

continued on next page

子供の健康維持

栄養と運動

continued from previous page

4. スクリーンタイムを制限します。(例: テレビ、コンピューター、ビデオゲーム、スマートフォン / タブレット)
 - 2歳未満の子供は、スクリーンタイムはほとんど必要ありません。
 - 子供がスクリーンタイムをするときは、質の高い相互作用、教育、または運動を促進するために使用します。
 - 食事やおやつの間中は、スクリーンタイムは避けて下さい。
5. 食事やおやつを含め一日を通じて栄養について学習体験をします。
 - 健康的な食事をすることを教えます。不健康な食物を宣伝するマーケティング、ブランド教材は避けます。
 - 料理、ガーデニング、食育、牧場見学など体験学習を奨励します。
6. 家族が文化的、民族的に多様な健康的なライフスタイルを送れるよう支援します。
 - 保護者と、栄養面、身体面の発達について協力します。食事を計画する場合、子供の能力、好み、文化的背景を考慮します。
 - 健康的な生活に関する資料を保護者へ提供します。



ハワイ州保育所での栄養と運動の健康ガイドラインより適用。

HAR §17-891.1-25, §17-891.1-13, §17-892.1-26, §17.892.1-13, §17-895-25, §17-895-12, §17-896-24, §17-896-13

衛生

衛生

細菌、ウイルスなどの感染を防ぐには効果的な衛生対策が必要です。細菌が移らないようにすることが予防となります。衛生管理の重要なポイントは、適切な時期に衛生管理を徹底することで感染する前に細菌を除去することができます。

感染の一般的な原因：

- 病気に感染した人々
- 食物 特に生ものや、不適切に調理されたものや、保管されたもの
- 水または水がたまる場所。例：流し、トイレ、掃除用具、タオル
- 動物

児童保育提供者は、保育する子供に身近に接します。すべての子供の衛生管理を行い学習する環境を維持するのは児童保育提供者である、あなた次第です。一貫して子供の衛生管理を実践できれば、子供は健康的に学習することができます。

1日を通して衛生習慣を一貫して実践することが重要です。正しいおむつ替え、手洗い、除菌のための手袋の装着、定期的には子供の触った表面やおもちゃの掃除、除菌、消毒をする時、児童保育提供者は、子供とご自身の健康を守っているだけでなく、子供が一生健康であるために、健康的な生活習慣を指導しているのです。

衛生

手の洗い方

なぜ重要なのでしょうか？

- 手洗いは、感染症を引き起こす細菌の感染に対する最初の予防方法です。手洗いは感染を防止するために最も効果的で安価な方法です。

対応手順：

1. 水を流します。
2. 手を水に濡らします。
3. 石鹸をつけます。
4. 20秒間（「ハッピー・バースデー」を2回歌う長さ）手を洗います。手の内側、つめの下、指の間も洗います。
5. 少なくとも10秒間、手を洗い流します。
6. きれいな、使い捨てのペーパータオルで手を拭きます。
7. ペーパータオルで水を止めます。
8. プラスチック製の内袋の入ったごみ箱にペーパータオルを捨てます。



continued on next page

衛生

手の洗い方

continued from previous page

手洗いの頻度:

- ・ 託児所に到着時
- ・ 食事前、食事後、食物を扱った時。
授乳時
- ・ トイレの後。おむつ替えの後。子供を
トイレに連れて行った後
- ・ 咳、くしゃみ、または体液(鼻水、血
液、嘔吐物に接触)した後
- ・ 子供一人以上が遊んだウオターテー
ブルの使用前後
- ・ 屋外で遊んだ後
- ・ ペットを触った後、ペットの排泄物を
処理した後
- ・ 手が目に見えて汚れた時
- ・ 帰宅前



HAR §17-891.1-34, §17-892.1-35, §17-895-31, §17-896-33

衛生

手袋の使用方法

なぜ重要なのでしょうか？

- 手袋をすれば感染症を引き起こす細菌から手を守ることができます。

対応手順:

1. 手袋をする前に手を洗います。(詳細は、手洗いの手順を参照して下さい。)
2. 清潔な手袋を装着して下さい。「接触感染」を制限することができます。清潔な手袋が汚染されて他の子供に感染させないようによく触る場所(例:照明スイッチ、キャビネットの取っ手)は触らないようにし、また鼻をこす、眼鏡を直す、といったしぐさも控えます。
3. 手袋が破れたり、ひどく汚れた場合は、交換しましょう。
4. 汚れた表面に触れないように慎重に手袋を取り外します。
 - 手の内側をつかみ、引き離します。
 - 手袋をしている手で外した手袋を丸めます。
 - 手袋を外した(きれいな)手で、手首から裏返しにしながら手袋を外します。
5. プラスチック製袋の内袋のあるゴミ箱に汚れた手袋を捨てます。使い捨て手袋は洗ったり、再利用はしないようにしましょう。
6. 使い捨ての手袋を使用した後は、手を洗います。(詳細は、「手の洗い方」を参照して下さい。)



continued on next page

衛生

手袋の使用方法

continued from previous page

手袋は以下の場合に使用することが推奨されています:

- 子供の血液または血液を含んだ液体に触る時。特に児童保育提供者が手に怪我をしている時(例:子供の怪我の応急処置をする時。または血液が含まれる下痢のついたおむつを替える時。)
- 血液、体液(嘔吐、尿、便)で汚れた表面、衣類、器具などを除菌する時。
- 皮膚の発疹または病変からにじみ出る膿を処置する時。
- 口や目の処置、指から採血する血糖検査などの特別な医療処置を行う時。

衛生

おむつの替え方

なぜ重要なのでしょうか？

- 便や尿に存在する感染性微生物や細菌の拡散を予防するために、衛生的におむつを替えることはとても大切です。
- おむつを適宜に替えることで、長時間尿、排泄物(便)に接触することによる皮膚の炎症を予防できます。

対応手順:

1. 手を洗います。(詳細は、手洗いの手順を参考にして下さい。)
2. おむつを替える場所に、必要な物を全て用意します。
必要な物は以下の通りです：
 - 未使用のおむつ
 - 子供の肩から足まで非吸収性の紙を敷くか、または、防水性、非吸収性の滑らかな表面で、汚れが残らず、簡単に消毒できる表面を確保します
 - ワイプ、湿らせた布、またはウェットペーパータオル
 - 汚れた衣服を入れるビニール袋
 - 保護者の承認がある場合のみ、おむつかぶれの軟膏やスキンケアクリームを塗ります。その際、使い捨ての非吸収性の紙やティッシュを使用して軟膏を容器から取り出します
3. 子供を食べる場所、調理場より離れた清潔なおむつ替えの場所に配置します。おむつ替えの場所にいる間は、子供に手を離さないようにします。
4. おむつの替え方：
 - 汚れたおむつを子供の下に置いたまま、おむつをはがします。
 - 子供の両足を持ち上げて、必要に応じて、使い捨てワイプで前面から後ろ側に拭きます。
 - 使い捨てワイプは、一拭きごとに新しいものを使用します。
 - 汚れたワイプは汚れたおむつの中に、または、プラスチック袋が中に入ったゴミ箱に捨てます。



continued on next page

衛生

おむつの替え方

continued from previous page

5. 汚れたおむつと衣服を取り外します:

- ・汚れたおむつを内側に折ります。
- ・衣類が汚れた場合は、服をいれるプラスチックの袋に入れきちんと閉め、子供が触れない場所に保管し、迎えに来た保護者に持って帰ってもらいます。

6. 新しいおむつのつけ方。

- ・未使用のおむつを子供の下にスライドさせます。
- ・必要に応じて、おむつかぶれクリームを塗り、使用したティッシュはプラスチック製の袋が入ったゴミ箱に捨てます。
- ・おむつを留めます。
- ・児童保育提供者は自分の手を使い捨てワイプで拭き、別のワイプで子供の手を拭きます。
- ・子供に服を着せて完了です。

7. 児童保育提供者の手と子供の手も洗います。(「手の洗い方」を参考にして下さい。)

8. おむつ替えの場所の除菌。

- ・敷き紙をプラスチック製の袋の入ったゴミ箱に捨てます。
- ・おむつ替えの場所で見える汚れを拭き取り消毒します。(クリーニング、除菌、および消毒の手順を参照して下さい。)

9. 児童保育提供者は手を洗います。(「手の洗い方」を参照して下さい。)

10. 肌・便の状態(発疹、便の異常、色、匂い、頻度)を日々の記録に記入し、保護者と共有します。

おむつの種類による注意点。託児所では、吸湿性素材(例、高分子材料)の使い捨ておむつを使用します。例外は使い捨ておむつにアレルギー反応があり、使い捨ておむつの使用が許可されていない場合です。布おむつを使用する場合は、吸湿性のある内側の布おむつが外側の防水加工されたおむつカバーに完全に包まれたものを使用します。別の方法としては、布のおむつの外側に防水カバーをつけます。布おむつが、防水カバーと別個の場合は、外側と内側は同一として同時に取り替え、託児所では同じカバーを再度使用しません。託児所では布おむつの内容を洗ったり、廃棄したりはしません。汚れた布おむつは、非浸透性のものに完全に包み、子供の手の届かないところで保管し、保護者が迎えに来た際に渡します。

HAR §17-895-30

衛生

クリーニング、除菌、および消毒の手順

なぜ重要なのでしょうか？

- おもちゃや設備の表面をクリーニング、除菌、消毒することは、託児所では子供の感染を防ぐ有効な手順です。
- 適切な手順でクリーニング、除菌、消毒することで、子供と児童保育提供者が有毒な煙霧を吸い込むことを予防します。
- 米国環境保護庁(EPA)が承認した製品のみを使用します。これらの製品は、細菌を減らすか、または殺菌する効果があり、ラベルの指示に従って使用した場合は、健康・環境に害を及ぼすことはありません。

対応手順:

1. 設備の表面、おもちゃをクリーニング、除菌、消毒する必要があるか判断します。

用語の定義は以下の通りです。

- クリーニング: 汚れ・汚染を物理的に排除することです。クリーニングの摩擦により、差にタイザーか消毒剤で簡単にほとんどの細菌を除去することができます。
- 除菌: 公共衛生基準または規則で安全と考えられるレベルまで細菌を減らすことができる製品を使うことです。但し、完全に殺菌できるわけではありません。食物が接触する表面(皿、調理器具、まな板、ハイチェアトレイ)、子供が口にに入れるおもちゃや、おしゃぶりには、サニタイザーを使用します。
- 殺菌: または、バイ菌を不活性化する製品を使用することです。おむつ替えのテーブル、カウンタートップ、ドア、キャビネットの取っ手、トイレその他のバスルームの硬い無孔(穴の開いていない)表面に、消毒剤を使用します。



continued on next page

衛生

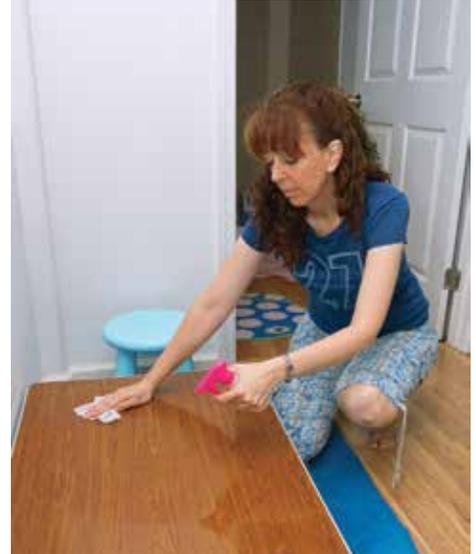
クリーニング、除菌、および消毒の手順

continued from previous page

2. 表面をクリーニング、殺菌、消毒する必要性を判断するときは、クリーニング、殺菌、消毒(付録C)を参照して下さい。

3. 殺菌液または消毒液を準備します。

- ・米国環境保護庁(EPA)登録番号を製品のラベルで確認して下さい。
- ・米国環境保護庁(EPA)登録番号を以下に入力します。 <http://iaspub.epa.gov/apex/pesticides/f?p=PPLS:1>
- ・製品の詳細の下に、PDFファイルで米国環境保護局に登録日が表示されています。リストの一番上のPDFをクリックすると、製品をサニタイザー(除菌)か、消毒剤として使うための承認された使用法が明記されています。
- ・漂白剤を準備するとき：
 - 有色の材質 (例えば、非透明のスプレーボトル)のボトルを選びます。
 - 手袋と保護メガネを着用します。
 - 漏斗を使用します。
 - 水を漂白剤に入れるのではなく、煙霧を減らすため漂白剤を水に入れて下さい。
 - 部屋はよく換気されていることを確認します。
 - 漂白剤、または漂白剤を含む液に、アンモニアを絶対混ぜないで下さい。
 - 漂白剤のボトルには、毎日作り、内容物・日付を書いたラベルをつけます。



continued on next page

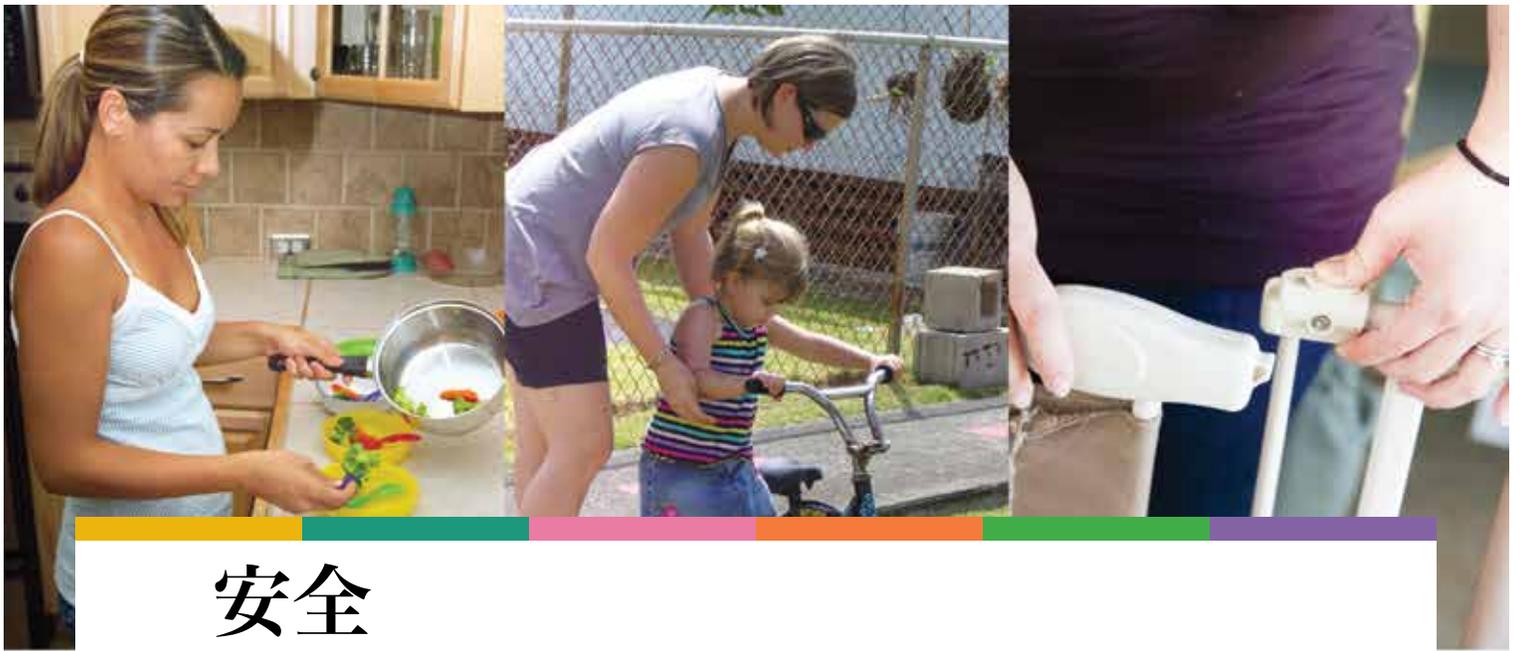
クリーニング、除菌、および消毒の手順

continued from previous page

4. EPAの承認した漂白剤やその他の液を安全に使いましょう。

- 汚れが見える場合は、ソープか、洗剤で表面を洗い、水ですすぎ、それから、液をかけます。
- スプレーを使う場合は、細かな霧でなく、多めにスプレーするように調節します。
- 製品のラベルに指定されている液をスプレーし、放置する時間を確保します。
- 子供がその場にいないことを確認して、スプレーします。
- 子供を部屋に戻す前に、部屋を換気し、新鮮な空気を循環させ、表面が完全に乾燥するか、必要な放置時間後拭き取って乾燥させます。
- 化学物質、クリーニングの材料は、鍵のかかるキャビネットなど子供が触っても開けられないようになっているか、子供の手の届かない安全な場所に保管し、倒れたり、こぼれたりしないようにします。

HAR §17-891.1-34 (6), §17-891.1-36 (c), §17-892.1-35 (6), §17-892.1-38, §17-895-14 (d), §17-895-30 (a) (4), §17-895-32 (a) (c), §17-896-35



安全

子供の安全を守ること、安全な環境を提供すること、けがのリスクを無くすことは、児童保育提供者の責任です。子供は成長し、常に新しいスキル、物の新しい使い方を試し、今まで経験したことのない場面に遭遇します。子供の好奇心や衝動が、学習につながります。これは、時には危険な状況に遭遇することになり、けがをするリスクも高まります。小さな子供は冒険心が旺盛です。学習を促す一方安全を守ることが大人の仕事です。けがや事故のリスクを軽減することは、子供の安全性を保つ上で重要です。

子供のけがや死亡は、事故が主要な原因でほとんどは回避することができます。子供の興味、年齢、能力が変われば、予防のしかたもそれに合わせて変える必要があります。子供の安全を維持するための注意事項は、幼児に対するそれとは、異なります。児童保育提供者が、常に子供とその環境を観察し、適切な予防を行い、常に監視することが重要です。

児童保育提供者としてどのように監視し、予防するかは以下の通り、さまざまな側面があります。児童虐待および/または育児放棄の兆候があるか、子供が車に乗車する際、チャイルドシートに座っているか、食品が正しく保管・調理されているか、毒物・防虫剤を認識し正しく保管・携帯しているか、子供のおもちゃや遊具が安全であるか年齢・能力相応であるか、十分に計画された緊急計画があるか、安全に睡眠が取れているか、観察し必要に応じ適切な報告を行います。

本書には、安全性について次の情報が含まれています。

- **車の安全**
 - チャイルドシートの安全
 - 車での移動の手順
 - 熱射症の予防
- **食物の安全性および保管**
 - 食物の安全性
 - 食物アレルギー
 - 母乳の安全性
- **チャイルドプルーフ (子供安全対策)**
 - 育児の場での安全
 - 中毒予防ガイド
 - 水の安全
- **おもちゃと遊具の安全性**
 - おもちゃの安全性
 - 遊び場の遊具の安全性
- **子供の虐待や育児放棄**
 - 児童虐待・育児放棄の疑いのある場合の通報
 - 揺さぶられっ子供候群の予防
- **安全な寝かせ方**
 - 安全に寝かせる方法
 - 安全なベビーベッド
- **緊急時の対応手順**
 - 応急処置・心肺蘇生法の手順
 - 緊急時の備え

安全

車の安全

車(例:自家用車、SUV、トラック)の中での子供の安全は非常に重要です。突然の車の停止や衝突の際、特に子供はけがをしやすいです。大きな衝撃であろうと、小さな衝撃であろうと、車内で正しくシートベルトをしていなければ、飛び出す危険があります。子供と車に適したチャイルドシートを使用し、どこに行くにも継続して使用することで、子供の安全を守ります。チャイルドシートをどの方向に向けて設置するかは、子供の成長により変わります。子供の成長に合わせて適切に変更し、車での安全を確保することができます。また、子供は、車内でチャイルドシートを使用することを習得し日常的に使えるようになります。

車は、動いていない時でも危険な場合があります。車の中で置き去りになり、熱射病により死亡することもあります。日中、車内での温度は、短時間で非常に高温になる場合があります。子供たちは大人に比べ発汗する機能が十分に発達していないため、体温を下げる力が弱く、大人よりも大きさが小さい一方、より多くの熱を発するので、大人よりも熱射病になるリスクが高くなります。車で子供を移動させるときは、子供の安全のため適切な輸送手順に従います。車から離れる前に、子供が車に残っていないかを確認することで、子供の安全を守りましょう。車の中には、たとえ一時でも、子供一人を車に放置しないようにしましょう。車の鍵が開いたまま、車から離れてはいけません。かってに子供が乗らないようにするためです。車の中で、常時、大人が適切に必要な措置をとることで子供の安全を守ることができます。

車の安全

チャイルドシートの安全

なぜ重要なのでしょうか？

- 常にチャイルドシートを正しく設置し、シートベルトを正しく子供に装着することで、急停止、低速での事故、高速度の事故の際に、けが(または、死亡)することを避けることができます。

対応手順:

1. 子供の体重、サイズ、年齢にあった適切なチャイルドシートまたはブースターシート、また子供の乗る車を選びます。(付録 D:チャイルドシートの要件またはwww.safercar.gov を参照して下さい。)
 - 連邦政府承認のチャイルドシートを使用して下さい。
 - 6年以上経過したものや、事故にあったものは避けます(見た目は大丈夫でも正しく機能しないことがあります)。どのくらい古いものか不明である場合、破損がある場合、使用感がある場合は、使用しないで下さい。
2. チャイルドシートの車への正しい取り付け方を学びましょう。
 - 製品マニュアルをよくお読み下さい。チャイルドシートの取り付け方がわからない場合、正しく取り付けられているか技術者に見て欲しい場合は、チャイルドシート検査所へ行き、認定を受けた技術者に見てもらうことができます。検査所は、州内各地の医療センター、病院、消防署にあります。
 - チャイルドシートは後部座席のできれば中央に配置します。子供が2歳未満まで、または、子供の体重、身長が、チャイルドシートの製造業者の勧める値まで成長するまで、後ろ向きに配置します。
 - 車が二人乗りで後ろにチャイルドシートを置けない場合は、助手席をなるべく後ろにずらせてチャイルドシートを設置して下さい。(#4を参照して下さい。)
 - 車のオーナーマニュアルを読み、シートベルトの使用法をまたは、ラッチシステムを確認して下さい
3. チャイルドシートのマニュアルを読んで下さい。前向き、後ろ向きの場合、シートをどの程度リクライニングするか確認して下さい。



continued on next page

車の安全

チャイルドシートの安全

continued from previous page

4. 後ろ向きのチャイルドシートを前の助手席に決して設置しないで下さい。エアバッグが作動する恐れがあります。

- 前の助手席にチャイルドシートを置かざるおえない場合は、子供が乗車中、助手席のエアバッグを一時的にマニュアルで作動しないように出来ればすることを国家道路交通安全局は奨励しています。助手席からチャイルドシートを移動させる場合は、エアバッグのスイッチを元のオンにして下さい。



5. 毎回、使用前に、チャイルドシート(チャイルドシート)の取り付け位置を確認して下さい。

6. 毎回乗る度に、子供が正しく装着していることを確認して下さい。

- 赤ちゃんの頭は、チャイルドシートの最上部から少なくとも2インチ(6センチ)下になければいけません。
- ハーネスは、常に乳児の肩かその下のスロットを通っていることを確認します。
- ハーネスのストラップが、特に肩ともものにフィットしていることを確認します。ストラップは、捻れていないか注意します。ハーネスの下に指が入るくらいの隙間がある場合は、ゆる過ぎます。
- 足の間にストラップが正しくラッチで固定するため、足の周りにまとわりつかない服を着せます。外が寒い場合は、まずハーネスを固定してから毛布をかけます(乳児の頭に毛布をかけてはいけません)。子供のおしりや背中に毛布を敷かないようにして下さい。
- 乳児がチャイルドシートの右側や、左側によっている場合(新生児によくあることです)、おむつ・タオルをまるめたものを乳児の頭の両側に置いて下さい。乳児の下に、毛布や敷物を敷かないで下さい。子供を固定するハーネスの機能に影響する場合があります。
- 乳児の頭がうつむきになる場合は、(これも新生児によくあることです)シートの角度を確認して下さい。タオルや毛布を使用して、シートを少し後ろに(30-45度の角度が適切)傾けます。
- 子供の成長に従いハーネスを調節します。

7. 車以外では、チャイルドシートに座っている時間をなるべく少なくして下さい。チャイルドシートに長く座っていると、感覚・運動機能を育てるために重要な、動いたり、刺激を受ける機会が制限されます。

HAR §17-891.1-12 (4), §17-892.1-12, §17-895-11, §17-895-17

車の安全

車での移動の手順

なぜ重要なのでしょうか？

- 米国では1歳から14歳の子供の主な死因は、交通事故です。交通手段の規定と手順(車内、車外)により、子供のけがのリスクを最小限に抑えます。

対応手順：

子供を車に乗せる前に：

1. 託児所に子供が通う間は、車での安全規定を保護者が理解していること確認し、書面に署名してもらいます。詳細は、チャイルドシートの安全手順を参照して下さい。車での安全規定は、以下を含めます：
 - 車で移動する際の、子供とスタッフの割合
 - 緊急事のためのバックアップの交通手段
 - 州の法律に基づき、シートベルト、チャイルドシート、ブースターシートを使用します(<http://hidot.hawaii.gov/highways/safety-communities/child-passenger-safety/>)
 - 緊急応急キット、子供の緊急連絡先、健康手帳、携帯電話の確保
 - 車の免許証、登録証、自動車保険、運転者保険
 - 最長移動時間
 - 到着後、子供が車内に残っていないこと、または、下車・乗車の際、車内外で子供が管理されていることを確認する手順(詳細は熱射病を参照して下さい)。
2. 車が安全で、十分整備されており、正規に登録され、保険が付保されていることを確認します。
3. 子供の年齢、成長の度合いに適した安全な子供の輸送方法を確認して下さい。



continued on next page

車の安全

車での移動の手順

continued from previous page

移動日:

1. やけどを防ぐため、チャイルドシートの金属部品、シートベルト、およびプラスチックカバーをチェックします。暑い日は、ブランケットや、タオルでカバーし、停車中、熱くならないようにします。
2. 子供は、道路側でなく、路肩側から乗車させます。
3. 年齢に合わせたシートを適切に取り付け、子供をシートに固定します。(詳細はチャイルドシートの安全を参照して下さい。)
4. 車内では、大人が適切な監督をします。
5. 子供が乗車するときは、名前と顔をリストで出席確認します。
6. 車内の温度は、子供に快適な温度にします。
7. 目的地に到着したら、進行方向の道路の路肩側に子供を下車させます。
8. 下車する際、名前と顔をリストで確認します。
9. 車両全体を見て周り、全員が下車したことを確認します。
10. エアコンをかけていても、窓が開いていても、時間にかかわらず子供を車内に放置してはいけません。



HAR §17-891.1-6 (8), §17-891.1-12, §17-892.1-5 (12), §17-892.1-12, §17-895-11, §17-895-17, §17-896-12

車の安全

熱射病の予防

なぜ重要なのでしょうか？

- 子供を熱い温度の車内に放置すると障害、死亡することがあります。
- 熱射病による死亡は、予防可能です。

対応手順:

1. エアコンが効いていても、窓が開いていても、子供を車内に放置してはいけません。
2. うっかり車内に子供を置き去りにしないよう、以下の対策をとって下さい。
 - 書面に書いて、車から離れるとき、見える位置において下さい。
 - ハンドバック、ブリーフケースなどを後部席に置き、車から離れるときに、後部座席をチェックする習慣をつけます。
3. 車から離れる時は、ドア・トランクをロックし、車の鍵は子供の手が届かないようにします。
4. 車内で子供を遊ばせない。鍵をイグニッションに挿したままにしない。
5. 子供が行方不明の場合、すぐ、すべての車・トランクを探します。



注意：念のため、事前連絡なしに、子供が決まった時間に現れない場合は保護者に連絡することを事前に決めておきます。

HAR §17-891.1-31, §17-892.1-32, §17-895-34, §17-896-30

安全

食物の安全性と保管

食事の準備と配膳は、託児所では日々行われていることですが、食物の安全性は子供の健康と安全にとっても重要です。汚染された食物を知らずに食べると病気になりますが、子供は消化器官や、免疫が未発達であるため病気になるリスクが高いのです。そのため、食物の種類を制限する必要があります。また、食中毒が原因で、生命を脅かしかねないアレルギー反応を起こすこともあります。

児童保育提供者は、粉ミルクを含めた食物の保管、調理、配膳を行う中で、安全を理解し、一貫して実践することで、食物の汚染、腐敗、食物による病気の感染を防ぐことができます。また、保護者から子供の食物アレルギーについての情報を入手し、子供がその食物を食べないように常に配慮すれば、アレルギー反応を防ぐことができます。

食物の安全性と保管

食物の安全性

なぜ重要なのでしょうか？

- ・ 食物を適切に調理・保管すれば、食物の腐敗・食中毒を防ぐことができます。
- ・ 子供がバクテリアに汚染された食物を食べると危険で、死につながる恐れがあります。

対応手順:

1. 食物の調理と、調理する場所を清潔に保つ。

- ・ 調理の前・間・後は、頻繁に手洗いをします。(詳細は、「手の洗い方」を参照して下さい。)
- ・ 調理に使用した表面、器具は全て洗い、消毒します。(詳細については「クリーニング、消毒、殺菌の手順」を参照して下さい。)
- ・ 調理する場所では、虫、ペット、その他の動物を排除して下さい。



2. 生の食物と調理済みの食物を分けます。

- ・ 生肉、鶏肉、シーフードを、他の食物と一緒にしないようにします。
- ・ 生の食物に使用した包丁、まな板は、他の食物に使用しないようにしましょう。
- ・ 生の食物は、調理済みの食物に接触しないよう、密封できる容器に保存します。

3. よく火を通します。

- ・ 適切な温度まで調理し、特に肉、鶏肉、卵、魚介類はよく火を通します。.

4. 食物は、適切な温度で保存します。

- ・ 熱い食物は熱く、冷たい食物は冷たくします。
- ・ 調理済みの食物は、室温で 2時間以上放置しないようにしましょう。

5. 水や生物は、清潔で安全なものを使用します。

- ・ 清潔で安全な水で洗い調理します。
- ・ 特に生で食べる場合は果物や野菜を洗いましょう。
- ・ 賞味期限の切れたものは使用しないで下さい。

HAR §17-891.1-35, §17-892.1-36, §17-892.1-37, §17-895-38, §17-895-39 (a) (b), §17-896-34

食物の安全性と保管

食物アレルギー

なぜ重要なのでしょうか？

- 食物による深刻なアレルギー反応の場合は、呼吸困難、じんましん、吐き気、嘔吐の症状がでて、即座に処置しないと血圧が急激に下がり死につながる恐れがあります。
- 子供は、託児所で初めてアレルギー反応を経験することがあります。児童保育提供者は食物アレルギーの知識を持ち、対応することが大切です。

対応手順:

1. 入園児の新規登録の際:

- 子供の食物アレルギーの有無を保護者に確認します。
- 以下を含む、子供の主治医からの指示を家族に聞きます:
 - アレルギーのある食物
 - 特定の症状に対して必要な薬
 - 薬の名、服用量、取り扱い方法
- 家族からエピペンを渡された場合、エピペンの使用方法を家族に教えてもらいます。
- 家族に「薬に関する同意書」を記入してもらいます。(付録Bを参照して下さい。)



2. アレルギーの予防手順:

- 調理室に子供別のアレルギーを起こす食物のリストを掲示し、食物を与える際に、いつでもスタッフが確認できるようにします。
- アレルギーを起こす食物を完全に排除すれば、間違って食べてしまう事故を防ぐことができます。
- 保育所の園児が食べられないアレルギーを起こす食物を、保護者全員に周知し、保育所に対し持参しないよう連絡します。

食物の安全性と保管

食物アレルギー

continued from previous page

3. アレルギー反応の症状。

- ・食事中、子供と一緒に座ります。急なくしゃみ、皮膚の赤み、じんましん、かゆみ、皮膚のはれ、青みがかかった唇や皮膚、窒息、話せないなどアレルギー反応があるか観察します。
- ・つらそうな声やしぐさをしているか観察します。よくしゃべる子供は教えてくれることもあります。
 - 口に変な感じがある。
 - 舌に変な感じがある。
 - 舌(または口)がかゆい。(ひりひりする)
 - 舌が熱い。
 - 喉に引っかかっているものがある。
 - 唇が引っ張られている感じ。
 - 耳の中に虫がいる。

4. アレルギー反応の治療：

- ・対応計画に従い、処方箋を迅速に与える。
- ・アレルギー反応があった場合、反応が無くともアレルギーのある物に接触した場合は、保護者へ連絡します。
- ・エピネフリンを投与した場合は、すぐ911へ連絡して下さい。
- ・遠足など保育所から離れた場所に行く場合は、治療計画書、携帯電話、緊急連絡先、処方箋、薬を常備しましょう。
- ・必要な場合は 911に連絡します。

HAR §17-891.1-25 (e), §17-892.1-26 (f), §17-895-25 (f)(g), §17-896-24 (h)

食物の安全性と保管

母乳の安全な保存方法

なぜ重要なのでしょう？

- ・母乳を安全に保管すれば、乳児、子供の病気を防ぐことができます。

対应手順:

1. 母乳の入った容器はすべて日付がついていることを確認します。

2. 新鮮な母乳の冷蔵庫保存方法:

- ・母乳の容器は、冷蔵庫の中央に置き、ドアの内側には置きません。
- ・母乳は5-8日以内に使い切ります。

3. 一時的に冷蔵庫の外で保存する場合:

- ・アイスパックの入ったクーラーボックスの中で保存します。クーラーボックスの中の温度が100度F(37度C)以下であれば4時間まで安全に保存可能です。

4. 冷凍庫で保存する場合:

- ・冷蔵庫の中の冷凍庫で、母乳を2週間まで冷凍保存できます。
- ・専用のドアがついている冷凍庫では母乳を、3-4ヶ月まで冷凍保存できます。

5. 冷凍母乳の解凍:

- ・冷蔵庫で母乳を解凍するか、またはぬるま湯で解凍します。
- ・電子レンジやレンジで加熱し冷凍母乳を解凍してはいけません。
- ・冷蔵庫で解凍した母乳は24時間以内に使い切ります。
- ・室温になった母乳は1時間以内に使い切ります。
- ・解凍した母乳は再冷凍してはいけません。

HAR §17-895-39(a)(b)



安全

子供の安全 (チャイルドプルーフ)

子供たちは好奇心、冒険心が強く、発見して学んでいきます。しかし、好奇心や探求心のために、けがをするリスクが高くなることがあります。大人は、けがのリスクを減らし、成長に合わせてニーズや能力にあった安全な環境を子供に提供することが大切です。

幼児の身体的な能力は、理解力、推論する能力より発達しているため、どのような物や状況でけがをするかをよく理解できていない場合があります。児童保育提供者は、子供の成長に合わせて子供が何をすることができるかを把握し、危険なものや状況を認識し、リスクを無くすために環境を意図的に改善することができます。

以下のような安全ガイドラインに従い、子供の安全に配慮しましょう。託児所の内外で、皆の安全を確認します。子供の遊ぶのを見て、危険なものがないか観察します。床、または地面にすわり、子供の目線から観察します。子供がけがをしそうなものがあれば、取り除くか、行けないようにします。子供が水に入っている間、水が近くにある場合は、子供から目を離さないようにします。子供は、2-3インチ(5-7cm)の深さの水でも溺れることがあります。

いずれにしても、観察することが一番の予防につながります。事故は一瞬にして起こることがあります。子供を安全に守るには、予防と観察が大切です。

子供の安全(チャイルドプルーフ)

育児の場での安全

なぜ重要なのでしょうか？

- 承認された児童安全装置を使い、安全のために注意を払うことで、子供のけがを防ぐことができます。

対応手順:

1. 子供の環境を観察し、危険なものを特定します。
子供の目線に立って、四つんばいになり、各部屋を見て回ります。床から40インチ(1m)の高さで何が注意を引くか、どんなものに手が届くかを確認します。
2. 子供に危険なものを除去または手の届かないところに移動します。銃や兵器(ハンティングナイフ、アーチェリー、空気銃、ソフトエアガンおよび関連アクセサリ類)は鍵をかけられた別の場所で鍵をかけられた入れ物に確保して下さい。
3. 入り口、出口は確保されており、避難経路は通行可能か確認して下さい。
4. けがを防ぐために、器具、設備、家具に安全装置を設置します。例えば、以下のよう
な安全装置を指します。
 - 安全掛け金と鍵を、キッチン、トイレのキャビネットや引き出しの鍵、その他の場所に使。大人が簡単に取り付けられる安全掛け金や鍵で、しかも、子供が引っ張っても壊れない丈夫なものを探しましょう。
 - 階段や危険性のある部屋への安全扉。大人は簡単に開閉ができるが、子供は容易に開けられない安全扉を探して下さい。
 - ドアノブのカバーとドアロックをドアに取り付けます。ドアに丈夫な鍵をつけ、緊急時にはすぐ開けられるものにします。
 - 蛇口のやけど防止装置とシャワーヘッド。水温は120F(49c)に設置し、やけどを予防します。



continued on next page

子供の安全(チャイルドプルーフ)

育児の場での安全

continued from previous page

- 煙探知機、一酸化炭素警報装置は、育児所各階の各部屋に設置します。少なくとも年に一度、電池を点検します。
 - ウインドウ・ガードと安全網を窓、バルコニー、デッキ、階段頂上の床面に設置します。窓の開けられる幅は、ウインドウ・ガードのバーの間隔を含めて4インチ(10 cm)未満にします。
 - 家具の角や、端のバンパー。バンパーは、家具にしっかりと固定されていることを確認します。
 - コンセントカバーとコンセントプレート。子供が容易にコンセントプロテクターをはずせられないことを確認して下さい。口に入れても大きくて窒息することはないことを確認して下さい。
 - 窓のカバーの紐。(ブラインド・カーテンのコード)は子供の手が届かないようになっていることを確認します。
 - アンカー(補強器具)。家具や家電製品(例えば、テレビ台、棚、本棚、ドレッサー、机、チェスト、および範囲)を床または壁に固定します。
 - プールや水辺の安全柵。4フィート(121cm)の自動的に閉まり、自動ラッチ掛けのフェンスを設置し、プールや水の回りを完全に囲います。
5. 育児環境を毎日チェックし、子供の身長・体力に合わせた設備が設置されているか、改修すべきか、新しい設備にするかを確認します。

HAR §17-891.1-31, §17-891.1-32, §17-891.1-36, §17-892.1-32, §17-892.1-33, §17-895-34 (1), §17-895-32, §17-895-35, §17-896-30, §17-896-31

子供の安全(チャイルドプルーフ)

中毒防止ガイド

なぜ重要なのでしょうか？

- 中毒を防ぐ対策を採ることが、中毒を防ぐ最も効果的な方法です。

対応手順:

1. 注意点:

- 薬や家庭用品(洗剤)は、子供に見えない鍵のかかる、または子供が開けられない掛け金のついたキャビネットにしまいます。
 - 薬や家庭用品は、元の容器に入っていることを確認します。
 - 薬や家庭用品は、子供が開けられない容器に入っていることを確認します。
 - 家庭用品を保管する際、他の食物や薬とは別に、保管して下さい。
 - 子供は真似する場合がありますので、児童保育提供者が、薬を取り出しているところが、子供に見えないようにします。
 - 薬は、正しい名前でご扱います。薬は「キャンデー」ではありません。
 - 製品を使う前に、ラベルの使用方法を必ず読みます。
2. 子供の中毒を予防するために防虫剤は、一部屋ごとに使用します。中毒防止チェックリスト(付録E参照)一部屋ごとに中毒の危険性があるかチェックします。(施設での必要性に応じて処置。)
- 危険性を見落とさないように子供の目線で、危険性をチェックします。
3. 各部屋を点検し、問題なければチェックリストに、チェックをします。
- 問題がある場合は、安全確保のために、対応手順に従います。
4. 中毒を防ぐために、チェックリストを頻繁に使用し危険物を見極めます。
5. 中毒事件が発生した場合は、中毒ヘルプライン1-800 -222-1222 または911へ電話します。この番号は、電話の近くに掲示して下さい。



HAR §17-891.1-32 (6), §17-891.1-23, §17-891.1-29, §17-891.1-36, §17-892.1-33, §17-892.1-23, §17-892.1-30, §17-892.1-32, §17-895-32 (b), §17-895-23, §17-895-35 (9)(10), §17-896-22, §17-896-30, §17-896-31

子供の安全(チャイルドプルーフ)

水の安全

なぜ重要なのでしょうか？

- ・ 子供は、2-3インチ(10センチ)でも溺れることがあります。

対応手順:

1. 水が近くにある場合は、子供から目を離さないようにします。
2. 水の危険性に注意して下さい。
 - ・ 浴槽、クーラーボックス、バケツなど、子供の手が届かないところに保管します。使用したら、すぐに水を抜きます。
 - ・ トイレの蓋はいつも閉めた状態にし、便座ロックを使用します。
 - ・ プールや、水のあるところには、立ち入りできないような対策をいくつか設置します。プールや水のあるところには、高さ4フィート(121cm)の塀で、自動で掛け金がかかるドアがついたものを設置します。
3. 子供が水の近くにいる場合は、以下の安全規則を守ります。
 - ・ 児童保育提供者は、心肺蘇生法(CPR)の訓練を受けており、常にプールや水のあるところには、電話をかけられる状態にします。
 - ・ プールの回りは走らないなど、決まりを作ります。
 - ・ 浅い幼児用のプールでも、大人が手を伸ばせば捕まえられる距離にいるべきです。これを「タッチ監督」といいます。タッチ監督とは、常に、手が伸びる距離にいて監督することです。
 - ・ ライフジャケットを使用する場合は、適切に装着されていることを確認します。(ライフジャケットは、装着した後、子供の頭より上にずれないようにします。)5歳未満の子供は、ライフジャケットの襟が浮くようになっていて、泳いでいても頭が水から出ている状態になります。
 - ・ プールの排水溝は安全で、亀裂がないことをチェックします。排水溝のカバー、真空リリースシステムなどの安全設置があることを確認します。
 - ・ 認定ライフガードは以下の場合必要です。
 - 海岸、プールでの遊泳。
 - 子供用プールの深さが24インチ(60センチ)以上。



HAR §17-891.1-37, §17-892.1-39, §17-895-40, §17-896-36

安全

おもちゃと屋外遊具の安全性

遊びは、子供の成長のために不可欠です。いろいろな良質の安全なおもちゃ、素材で遊ぶ機会を増やすことで、子供は想像力を伸ばすことができます。おもちゃは、子供にとって重要な部分ですが、遊びは、常に安全とは限りません。

おもちゃメーカーは、説明書に安全情報を明記していますが、おもちゃを安全に使うには、年齢相応のおもちゃを与えるだけでは不十分です。児童保育提供者として、屋内と屋外での安全なおもちゃや遊具の中で、子供の年齢や成長段階に応じた適切なものを慎重に選ぶことが、子供の安全を守る第一歩です。しかし、遊具やおもちゃの正しい使い方、手入れ、そして、遊んでいる間、常に監督することで、始めて子供をおもちゃや、屋外遊具によるけがを防ぐことができます。おもちゃ・遊具を購入する際の注意点、手入れの仕方、保管方法、子供の適切な監督方法を児童保育提供者が理解し、実践して始めて、子供が安全に楽しく遊ぶことができます。

おもちゃと屋外遊具の安全性

おもちゃの安全性

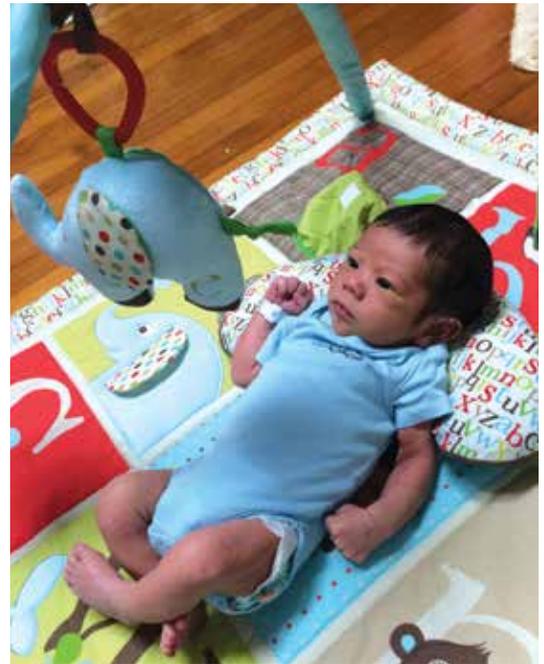
なぜ重要なのでしょうか？

- 適切なおもちゃを選び、正しく手入れを行い、子供を責任もって監督できれば、おもちゃに関連した怪我から子供を守ることができます。

対応手順:

1. おもちゃを購入する時:

- おもちゃを選ぶときは子供の年齢、興味、能力を考慮します。詳細は、参考リスト「For Kids' Sake: Think Toy Safety by Knowing Toy Dangers」 米国消費者製品安全委員会発行、を参照して下さい。
- どの年齢の子供にも、質の高いデザインと丈夫なおもちゃを選びましょう。
- 児童保育提供者が使用方法、注意事項を全て理解し、適切であれば子供にも伝えます。
- ラベルを読みます。推奨年齢(例: 対象年齢3歳以上)を確認しましょう。「難燃/耐火性」の布製品、と「洗える衛生的材料」のぬいぐるみや人形などの安全ラベルを確認しましょう。
- おもちゃの入っていたビニール袋または包装紙は破棄します。



2. おもちゃの手入れ:

- 定期的なすべてのおもちゃをチェックし破損していないか、危険でないか調べます。おもちゃが破損した場合は、すぐに修理するか、修理できない場合は、破棄します。
- 木のおもちゃは表面がささくれ立つことがあるので、やすりで滑らかにします。
- 屋外の遊具はさびたり、部品が劣化して危険となる場合があるので定期的にチェックしましょう。
- おもちゃが壊れたら教えるよう子供たちに指示します。
- 壊れたおもちゃは危ないことを子供に教えます。
- 壊れたおもちゃや遊具は、撤去します。

continued on next page

おもちゃと屋外遊具の安全性

おもちゃの安全性

continued from previous page

3. おもちゃの保管:

- ・遊び終わったおもちゃは、転ばないように、棚やおもちゃ箱に入れて片付けることを教えます。
- ・安全確認のため、おもちゃ箱をチェックします。おもちゃ箱の蓋は、どの角度でも開いたままにでき、子供に急に落ちてこないものを使用します。安全のために、おもちゃ箱には新鮮な空気の換気穴があることを確認して下さい。
- ・おもちゃをしまう前に、消毒して下さい。(詳細は、洗浄(クリーニング、除菌、消毒)を参照して下さい。)
- ・屋外で使用・保管する遊具は、頻繁にチェックして下さい。雨水に触れるとおもちゃ・その部品がさびたり、劣化し危険な場合があります。



4. 子供の安全・事故防止のため、責任を持って常に子供を監視することが大切です。

- ・子供のおもちゃの遊び方、友だちとの遊び方を観察し、けがをしないように必要があれば介入します。
- ・子供が興味をもって遊ぶおもちゃまたは材料はどれか、どのように使っているか観察し、正しい遊び方、(とよくない遊び方)を教えます。

HAR §17-891.1-32 (10), §17-891.1-15, §17-892.1, §17-892.1-33 (8), §17-892.1-15, §17-895-14 (d), §17-895-35 (8), §17-896-31 (7), §17-896-15

おもちゃと屋外遊具の安全性

遊び場の遊具の安全性

なぜ重要なのでしょうか？

- 子供が遊具でけがをすることがないように、遊具が構造的にしっかりしていること、よく手入れされていることを確認します。

対応手順:

1. 年相応の遊具で安全に遊んでいることを注意して子供を見守ります。
2. 遊具の周辺は、適当な表面材が敷かれていることを確認します。
 - 転んだときに、マルチ、砂、およびゴム製マットは、良いクッションになります。表面材は少なくとも 12 インチの深さで、遊具の回りに6フィート敷き詰めて下さい。
3. 子供が外のプレイグラウンドの遊具で遊ぶ前に、毎日遊具の安全性をチェックします。
 - ブランコ は、子供がブランコに当たらないように、他の遊具から離れた場所に設置します。ひとつの枠組みに、ブランコを2つまで、24インチ以上離して取り付けます。幼児の場合は、バケツ型シートの使用をお勧めします。
 - すべり台 は、しっかりと固定されていて、階段の手すり、ロープが強固なものでなければなりません。すべり台と、プラットフォームに隙間があってはなりません。すべり台の一番高いところには、すべる手前に鉄のバーがあり、座らなければすべることができないようになっています。
 - シーソー は、スプリングがついているものが幼児に適しています。従来のシーソーには、シートの下には、タイヤやその他の物が配置されており、地面に当たらないようになっています。
 - メリーゴーランド は、しっかりつかまることが出来、回転プラットフォームは水平で、鋭いものが飛び出しておらず、回りの子供に接触しない位置に設置します。
 - ジャングルジム の幼児向けのものは、32インチ(81cm)以下にします。水平の梯子は子供が4-5歳の場合、60インチ(152cm)以内にします。手すりや、階段が良好な状態であり、高くなったプラットフォームにはガードレールやバリアで囲まれていることを確認します。



continued on next page

遊び場の遊具の安全性

continued from previous page

4. S型フックや、突き出たボルトなど危険なもの、鋭利な金物がないかを点検します。危険な状態であれば修理されるまで、子供を遊ばせないようにしましょう。
 - ・必要な修理をするか、または組織の遊具担当者に連絡します。
5. 屋外で遊ぶときは、子供に適切な服装をさせます。遊具に引っかかりやすい衣類のフードや紐は、取り外します。遊んでいる間、必要以上に太陽にあたらないようにします。

HAR §17-891.1-15 (e), §17-891.1-32 (2), §17-892.1-15 (e), §17-892.1-33 (2), §17-895-14 (e), §17-895-35 (2), §17-896-31 (2)

安全

児童虐待・育児放棄

子供たちは怪我しないよう安全に守られていなければ、成長し学習することができません。大人が前向きに育て、子供のニーズに答えていれば、子供はすくすく成長します。しかし、子供が肉体的、精神的、性的に虐待された場合は、その反対になります。そして、そのマイナス効果は一生続く可能性があります。

揺さぶられっ子症候群のような極端な虐待は、恒久的脳の損傷または死亡の原因となります。子供の虐待は、肉体的にも精神的にも悪い影響を与えます。虐待が続くと、子供にストレスがかかり、免疫系の発達に悪影響を及ぼし、脳の発達が阻害されます。その結果、虐待されたり、育児放棄された子供は、青年・大人になって健康に問題があるリスクが高くなります。問題とはアルコール依存症、うつ病、薬物乱用、摂食障害、肥満、危険な性行動、喫煙、自殺、および慢性の病気などです。

児童虐待や育児放棄から子供を守ることは皆の責任です。どの年齢の子供でも虐待で苦しむことがあります。児童保育提供者は、子供の虐待や育児放棄を、診断したり、調査することはありませんが、虐待による一般的な身体的・精神的な徴候に気づき、子供の虐待や児童放棄の疑いがある場合、ハワイでは法令 § 350-1. 1 に従い、ハワイ州保健社会福祉省に通報しなければなりません。

児童虐待・育児放棄

児童虐待・育児放棄の疑いのある場合の報告

なぜ重要なのでしょう？

- 児童保育提供者は、ハワイ州法令§ 350-1. 1に従って子供の虐待や育児放棄の疑いがあれば報告する必要があります。
- 児童虐待の可能性を認識し、報告することは、子供の安全を守る上で非常に重要です。

対応手順:

1. 児童保育提供者が、子供の物理的、性的、または精神的な虐待、または育児放棄の可能性を認識したか、子供がそのような危害を受けたと話した場合、児童保育提供者は、観察記録を作成し、子供が何を言ったかを、日付と時間を含めて記録します。(児童虐待や育児放棄の兆候についての詳細は、「Understanding Child Maltreatment」(疾病管理予防センターと全国怪我防止と管理センター発行)を参照リストから参照して下さい。
2. 児童虐待・育児放棄の疑いがある場合は、即座に適切な機関に報告して下さい。報告する場合は、ハワイ州保健社会福祉省へ連絡して下さい。
 - オアフ島からは: 832-5300 (24 時間受付)
 - その他の島からは: 1-800 -494-3991 (フリーダイヤル、24 時間受付)
3. 緊急または直ぐ危害が与えられる可能性がある場合、911へ連絡します。

HAR §17-891.1-13 (3)(E), §17.892.1-13 (4)(E), §17-895-12 (2)(F), §17-896-13 (2)(E)

揺さぶられっ子症候群の防止

なぜ重要なのでしょう？

- ・ 揺さぶられっ子症候群(SBS)とは、防ぐことができる児童虐待であり、SBSがなぜ起こるか、その予防方法、SBSが原因の症状を理解できれば、SBSのリスクを軽減することができます。
- ・ 乳児は普通、1日あたりの1-2時間は、泣きます。子供によってはあまり泣かない子、よく泣く子がいます。泣く理由は、自分のニーズを知らせるためです。(例：おなかが減った。眠い。おむつがぬれている。)

対応手順:

1. 乳児が泣くときは、基本的なニーズが満たされていることを確認し、子供が、お腹がすいていないか、おむつがぬれていないかをチェックします。
2. 病気の兆候が無いか、けがしてないかチェックします。
3. 以下、乳児が泣きやむ方法をいろいろためしてみます：
 - ・ ゆりかごのようにやさしくゆするか、抱いて歩く
 - ・ 温かいお風呂に入れる
 - ・ おもちゃで気をそらす
 - ・ ベビーカーや車に乗せる
 - ・ 歌を歌ったり、話しかける
 - ・ おしゃぶり
 - ・ 背中をなでたり、軽くたたく



揺さぶられっ子症候群の予防

continued from previous page

どの方法もうまくいかない場合、不満や怒りを覚えても、乳児をけっしてゆすってはいけません。

- ベビーベッドのような安全な場所に、仰向きにして寝かせます。
- 休憩を取ります。乳児のすべてのニーズには答えたのです。
- 10-15分ごとにチェックします。
- 乳児が泣くことは問題がありません。それは正常であり、害はありません。
- 不満や怒りを感じる場合は、助けを求めましょう。保護者、友人、または家族に電話して、助けを求め、児童保育提供者は休憩できるように手配します。
- 保護者に相談し、なかなか泣き止まないことがあるか聞きます。ある場合は、かかりつけの医師に相談してもらい、医的原因があるか調べるよう勧めます。



HAR §17-891.1-13 (3)(E), §17-895-12 (2)(F)

安全

安全な寝かせ方

乳児や幼児は、一日の多くの時間を寝て過ごします。睡眠は、健全な成長のために重要です。子供特に乳児の世話をする児童保育提供者は、寝ている間の安全に注意を払います。

危険な寝方 (例えば、うつぶせ、横を下にして寝る)は、乳幼児突然死症候群(SIDS)または深刻な事故につながるリスクが高くなります。仰向けに寝せると、SIDSのリスクが減ります。

児童保育提供者は、枕、ぬいぐるみ、掛け布団、バンパーガードをベビーベッドから取り除くこと、子供が乗る車や環境は禁煙にすること、安全が保障されたベッドで寝かせること、他の子供のベッドと一緒に寝せないことで、安全を守ることができます。このような配慮をすれば、窒息や、狭窄などの眠りに関する事故のリスクを減らすことができます。

安全な寝かせ方

安全に寝かせる方法

なぜ重要なのでしょう？

- 危険な寝かせ方により、乳児は死亡する場合があります。
- 単純な配慮でSIDSやその他睡眠に関するリスクを大きく減らすことができます。

対応手順:

- 12ヶ月未満の乳児は昼寝、夜の間、仰向けに寝かせて下さい。仰向けの寝かせ方が一番安全です。
 - 仰向けで寝ている乳児は、横やうつぶせに寝かされた乳児よりSIDSで死亡するリスクが低くなります。
 - 寝る時間は、常に注意しましょう。仰向けでいつも寝ていたが、お昼寝はうつぶせに寝かされた乳児は、SIDSになる危険性が高いです。
- SIDSその他の睡眠事故のリスクを減らすため、乳児は承認されたベッドに、しっかりシートが敷かれた固いマットレスの上に寝かせます。(詳細は、「安全なベッド」を参照して下さい。)
 - 硬いマットレスとは、認証を受けたベッドやプレイペン(pack and play (折畳みプレイペン)、portable play yards (ポータブルプレイヤード等))を含みます。
 - チャイルドシート、キャリア、スイング、類似品を、毎日寝るベッドとして使用しないようにしましょう。
 - 柔らかい表面、例えばソファ、カウチ、枕、キルト、布団、シープスキン、毛布の上で寝かせないで下さい。
- ベッドには、柔らかいもの、おもちゃ、緩んでいる寝具を置かないようにします。柔らかいものとは、枕、毛布、キルト/布団、シープスキン、枕のようなバンパーパッドを含みます。乳児の顔を覆って呼吸を妨げるようなものは排除します。
- 乳児・幼児のいる保育所は禁煙です。喫煙者と寝ている乳児、煙を吸った乳児は、突然死の恐れがあります。
- 乳児の寝るところは、他の人とは別にし、目の届くところにします。ベビーベッドやプレイペンには一人ずつ寝かせます。大人や他の子供と同じベッドに乳児が寝て、下敷きになり窒息するようなことがないように乳児と一緒に寝るベッドには寝ないようにします。



continued on next page

安全な寝かせ方

安全に寝かせる方法

continued from previous page

6. (生後1ヶ月以上)の乳児には、SIDSを予防するため昼寝、夜間、紐のついていない乾燥したおしゃぶりを与えます。
 - ・乳児におしゃぶりを強要してはいけません。
 - ・睡眠中、乳児の口からおしゃぶりが外れた場合は、付け直す必要はありません。
7. 睡眠中、乳児の体温が上がり過ぎないように注意します。乳児は体温が上がりすぎると突然死することがあります。
 - ・乳児を寝かすときは（大人が着て快適な服の上にもう一枚着せるようなことはせず）軽い寝巻きを着せます。室温は大人が快適と感じる温度にします。寝巻きは、ワンピースのスリーパーまたは、スリープサックでも良いです。乳児が汗をかいていたり、呼吸が速い場合は、暑過ぎるかもしれません。
8. SIDSのリスクを軽減するという製品は避けて下さい。そのような製品の多くは、有効性や安全性をテストされたものではありません。
9. 乳児は、寝る前、寝ている間、起きようとしているとき、常に目でみて、耳で聞いて状態を確かめましょう。SIDSのリスクを軽減するために、ホームモニターに頼り過ぎないようにしましょう。モニターを使う場合は、他の症状についても医師と相談しましょう。
10. 「はらばいの時間」 - 乳児が、目が覚めていて、乳児の呼吸が確保されていることを確認しながら行います。一日2-3回、短期間(3-5分間)「はらばいの時間」を設けると良いでしょう。成長に従い、「はらばいの時間」を楽しんでいるようであれば、時間を延ばしていきます。注意：うつぶせのまま寝てしまわないようにします。

「うつぶせの時間」は、以下の理由で重要です：

 - ・絶壁頭になるのを防ぎます
 - ・首、肩の筋肉を強くし、座って、はいはいし、そして歩くようになります
 - ・乳児の運動能力(筋肉を使用して運動することが向上します)
11. 乳児が入れ替わった場合は、寝具を替えます。マットを使用した場合も同様です。(詳細は、クリーニング、消毒、殺菌のリソースを参照して下さい。)

HAR §17-891.1-15, §17-891.1-41, §17-891.1-42, §17-895-14, §17-895-45, §17-895-46

安全な寝かせ方

ベビーベッドの安全

なぜ重要なのでしょうか？

- 最新の連邦安全基準を満たしていないベビーベッドの使用は危険で死につながる恐れがあります。正しく組み立てられていないベビーベッド、ゆるんでいる、または組子に破損ある場合、板が割れている場合、間に挟まって窒息することがあります。

対応手順:

1. 以下の条件を含め、安全のために、ベビーベッドを必ずチェックします。

- マットレスとベッドの枠の間に挟まることのないように、固いマットレスが隙間なくおさまるものを選びます。
- ベビーベッド、マットレスサポートのネジや部品が不足、破損、取り付けに不備があるものは避けます。
- ペンキが割れたり、はがれていないもの。
- ベビーベッドの組子の間の長さはソーダの缶 (2-3/8 インチ、5-7cm) 以内であること。
- ベッドを一番低い場所に置いた場合、マットレスとベッドの枠との間に、指が2本以上入らないこと。
- 組子が不足していたり、破損していないこと。
- 乳児の服が引っかかるような、ベッドのコーナーの棒の長さが1 /16インチ以内であること。
- ヘッドボードや、フットボードに、乳児の頭が挟まるような、切り込みがないこと。
- 米国消費者製品安全委員会(以下、 CPSC)の規定により、固定器具が設置されていないドロップサイドベビーベッドでないこと。



continued on next page

安全な寝かせ方 P

ベビーベッドの安全

continued from previous page

2. 消費者製品安全委員会(CPSC)のサイトを参照し、最新のベビーベッド基準をチェックします。www.cpsc.gov.
3. 未然の事故防止。
 - ・ベビーベッド専用のゴム付きベッドシートのみを使用します。
 - ・窓のブラインド、カーテンから紐がついているものの近くに、ベビーベッドを配置しない。乳児に紐が絡まることがあります。
 - ・ベビーベッドにハンモックや、ブランコなどを、取り付けない。乳児が挟まる可能性があります。
 - ・乳児がお座りできるようになる前に、マットレスは低くします。乳児が立ち上がれるようになる前に、マットレスは、最も低い位置にします。
 - ・ぶら下がったモービルや、クリブジムが手に届かないようにします。
 - ・生後5ヶ月または、乳児がはいはいできるようになると、ベッドにぶら下がっているおもちゃは、取り外します。おもちゃで乳児の首が絞まる可能性があります。
 - ・身長が 35 インチ(88センチ)になり、動いて、ラッチをつかんだり、またはベビーベッドをよじ登るようになったら、ベビーベッドの使用をやめます。その時点で別のベッド、小児用ベッドやスリーピングマットに取り替えます。

HAR §17-891.1-41, §17-891.1-42, §17-895-45, §17-895-46

安全

緊急時の対応手順

子供の安全を守ることが児童保育提供者としての任務です。しかし、あらゆる不測の事故に備え、安全に努めても、思わぬ事故、自然災害、人災による緊急事態は起こり得ます。緊急時は、子供は何が起きているのか理解できず、年齢により自分自身を守ることができません。このような状況では、各人準備・計画することで、災害の影響を減らし、子供のために冷静かつ安全な環境を維持することができます。

緊急事態が発生する前に、災害計画を作成、改訂し、非難訓練を行うことで、必要な物品、児童保育提供者・子供のための安全行動、保護者との連絡手順を確認できます。行動計画が決まっていれば、迅速に行動できます。これは、緊急時には重要なことです。

緊急時の対応手順

応急処置・心肺蘇生法の手順

なぜ重要なのでしょう？

- ・ 緊急な症状を認識し、応急処置や心肺蘇生法を実行することで、子供の命を助けることができます。

対応手順:

1. 応急処置は、以下の場合に行います:

- | | |
|----------|-------|
| ・目のけが | ・頭部外傷 |
| ・骨折・捻挫 | ・中毒 |
| ・刺し傷、かみ傷 | ・失神 |
| ・火傷 | ・鼻血 |
| ・皮膚の傷 | ・歯の損傷 |
| ・てんかん発作 | ・発熱 |



2. 子供が怪我をしたらすぐチェックします。

- ・ 応急処置・心肺蘇生法の訓練で学んだことを活かして、子供の治療にあたります。
- ・ 出血していれば、使い捨て手袋を着用して下さい。手袋のつけ方を参照して下さい。
- ・ 救急キットを使って基本的な救急処置をします。救急キットに何が含まれるか、救急チェックリスト(付録F)を参照し、確認します。

3. 子供の怪我に処置をしている間、他の子供が安全であることを確認します。



continued on next page

緊急時の対応手順

応急処置・心肺蘇生法の手順

continued from previous page

4. 子供に治療が必要であれば、911に電話します。
5. 子供の保護者へけがをしたことを連絡し、子供に行った処置を伝えます。
6. 子供を治療する上で助けが必要な場合、替わりの担当の児童保育提供者を呼びます。

承認された子供の応急処置/心肺蘇生法のトレーニングに関する情報：

- <http://www.redcross.org/take-a-class>
- <http://www.heart.org/HEARTORG/>

HAR §17-891.1 (6), §17-891.1-21, §17-891.1-22 (i), §17-892.1-6 (9), §17-892.1-21, §17-892.1-22, §17-895-6 (12), §17-895-21 (a), §17-895-22

緊急時の対応手順

緊急時の備え

なぜ重要なのでしょう？

- ・ 自然災害や緊急事態は、精神的影響、施設への損害を与え、児童保育提供者や子供の安全が脅かされます。緊急計画があれば、緊急時に迅速に対応することができます。

対応手順:

1. 保育所のある地域ではどのような自然災害や緊急事態（津波、地震、台風、洪水、暴力行為等）が起こりうるか検討し、詳細を以下のウェブサイトで参照して下さい。
 - ・ 緊急時管理省
<http://www.oahudem.org>
 - ・ 米連邦連邦緊急時管理局
<http://www.fema.gov>
 - ・ アメリカ合衆国国土安全保障省、緊急対応準備局
<http://www.ready.gov/>
 - ・ ハワイ州アメリカ赤十字社支部
<https://www.redcross.org>
2. 保育施設が、災害や緊急事態に耐えることができるかを確認します。
3. 手順 1 で確認した危険、自然災害に備えた緊急計画を作成します。(付録G 緊急対応計画の見本)
4. 緊急計画に沿った緊急/避難キットを作成します。(付録H 緊急支援物資ツールキットを参照して下さい)。定期的に、物資の有効期限が切れていないことを確認します。



continued on next page

緊急時の対応手順

緊急時の備え

continued from previous page

5. 保護者ハンドブック、保護者への通知・案内に、緊急計画について周知します。保護者全員に、緊急計画を案内します。
6. 緊急計画は、保護者がいつでも参照できるようにファイルに保存し、見やすいところに掲示します。
7. 緊急時の対応手順は、月 1 回子供と練習し習得させます。



HAR §17-891.1-30, §17-892.1-31, §17-895-33, §17-896-29



参考文献

参考文献

- Adesman, A. (2010). *Heat waves, hypothermia and hot cars* (2010). Retrieved from <http://blogs.webmd.com/parenting-myths/2010/07/heat-waves-hyperthermia-and-hot-cars.html>
- Administration for Children and Families Office of Child Care (2014). *Resource guide: emergency preparedness and response resources for child care programs*. Retrieved from <https://childcareta.acf.hhs.gov/resource/resource-guide-emergency-preparedness-and-response-resources-child-care-programs>
- American Academy of Pediatrics (2007). *Emergency guidelines for schools*. Retrieved from <http://www2.aap.org/sections/schoolhealth/emergencyguidelines2007.pdf>
- American Academy of Pediatrics (2004). *First aid*. Retrieved from <http://www.pediatricspec.com/resources/FirstAid.pdf>
- American Academy of Pediatrics (2016). *Media and Young Minds: Council on Communications and Media*. Retrieved from <http://pediatrics.aappublications.org/content/138/5/e20162591>
- American Academy of Pediatrics, American Public Health Association, National Resource Center for Health and Safety in Child Care and Early Education (2011). *Caring for our children: National health and safety performance standards; Guidelines for early care and education programs*. 3rd edition. Elk Grove Village, IL: American Academy of Pediatrics; Washington, DC: American Public Health Association.
- American Heart Association (2014). *Obesity in infants to preschoolers [infographic]*. Retrieved from http://www.heart.org/HEARTORG/HealthyLiving/HealthyKids/ChildhoodObesity/Obesity-in-Infants-and-Preschoolers-Infographic_UCM_467593_SubHomePage.jsp
- American Heart Association (2014). *Preventing childhood obesity: Tips for parents and caretakers*. Retrieved from http://www.heart.org/HEARTORG/HealthyLiving/HealthyKids/ChildhoodObesity/Preventing-Childhood-Obesity-Tips-for-Parents-and-Caretakers_UCM_456118_Article.jsp#.WKy1UzsrKUK
- Aronson, S.S. & Shope, T.R., ed. (2009). *Managing infectious diseases in child care and schools: A quick reference guide*. 2nd ed. Elk Grove Village, IL: American Academy of Pediatrics.
- California Child Care Health Program (2009). *Disposable gloves*. Retrieved from http://www.ucsfchildcarehealth.org/pdfs/chinese/disposable_gloves_en.pdf
- California Child Care Health Program (2003). *Morning health check*. Retrieved from www.ucsfchildcarehealth.org/pdfs/posters/BWMorningCheckEN.pdf
- Centers for Disease Control and Prevention (2014). *Childhood obesity facts*. Retrieved from <http://www.cdc.gov/healthyyouth/obesity/facts.htm>
- Center for Disease Control and Prevention (2004). *Guidance for the selection and use of personal protective equipment (PPE) in healthcare settings*. Retrieved from http://www.cdc.gov/hai/pdfs/ppe/ppe_slides6-29-04.pdf
- Centers for Disease Control and Prevention (2013). *Infectious disease information: Infants' and children's topics*. Retrieved from <http://www.cdc.gov/ncidod/diseases/children/symptoms.htm>
- Centers for Disease Control and Prevention (2015). *Vaccines and immunizations*. Retrieved from <http://www.cdc.gov/vaccines/default.htm>
- Centers for Disease Control and Prevention (2013). *Voluntary guidelines for managing food allergies in schools and early care and education programs*. Washington, DC: US Department of Health and Human Services.
- Centers for Disease Control and Prevention & National Center for Injury Prevention and Control (2010). *Understanding child maltreatment*. Retrieved from <http://www.cdc.gov/violenceprevention/pdf/cm-factsheet-a.pdf>
- Center on the Developing Child (2015). *Key concepts: Toxic stress*. Retrieved from http://developingchild.harvard.edu/key_concepts/toxic_stress_response/
- The Children's Trust of Massachusetts (2015). *All babies cry*. Retrieved from http://www.allbabiescry.com/assets/docs/ABC_Booklet_English.pdf
- Division of Child Development and Early Education, North Carolina Department of Health and Human Services (2012). *Get ready, get set, go! Field trip and transportation safety: A handbook for North Carolina's early care and education workforce*. Retrieved from http://ncchildcare.dhhs.state.nc.us/pdf_forms/ready_set_go_training_module.pdf
- Esquivel, M. (n.d.). *Childcare Center Wellness Policy Best Practices Checklist*. Retrieved from <http://www.chl-pacific.org/community-connections/resource-material>
- Federal Emergency Management Agency (2001). *Sample childcare emergency action plan*. Retrieved from http://www.training.fema.gov/EMIWeb/IS/IS36/Handouts%20-Sample%20Plans/EAP_Sample.pdf

参考文献

- Fong, G., Tom, A., Gorecki, D., Nemoto, M.A., Hisatake, T., Furoyama, L., & Yuen, S. (2006). *Learning to Grow developmental guidelines for infants, toddlers and young preschoolers*. Honolulu, HI: University of Hawai'i at Mānoa Center on the Family.
- Food Safety World Health Organization (2012). *Five keys to safer food*. Retrieved from http://www.who.int/foodsafety/publications/consumer/en/5keys_en.pdf?ua=1
- Harms, T., Cryer, D., & Clifford, R. (2007). *Family child care environmental rating scale-Revised edition*. New York, NY: Teachers College Press.
- Hawai'i State Department of Health (2010). *Diseases and conditions*. Retrieved from <http://health.hawaii.gov/docd/dib/disease/#C>
- Hawai'i State Department of Health, Safe Sleep Hawai'i & Keiki Injury Prevention Coalition (2008). *Keep me safe while I sleep*. Retrieved from <http://www.safesleephawaii.org/PDFs/Keep%20Me%20Safe%20While%20I%20Sleep%202008.pdf>
- Keiki Injury Prevention Coalition (2012). *Car seat safety*. Retrieved from <http://kipchawaii.org/the-coalition/car-seat-safety/>
- Keiki Injury Prevention Coalition (2014). *Inspection stations*. Retrieved from <http://kipchawaii.org/the-coalition/car-seat-safety/inspection-stations/>
- Kids Health (2015). *Abusive Head Trauma (Shaken Baby Syndrome)*. Retrieved from <http://kidshealth.org/parent/medical/brain/shaken.html>
- Kyono, M. (2013). *Hot topics: Health and safety cards*. Retrieved from http://health.hawaii.gov/cshcn/files/2013/05/Hot_Topics_Health_Safety.pdf
- National Association of Child Care Resource & Referral Agencies & Save the Children (2010). *Protecting children in child care during emergencies*. Retrieved from http://www.naccrra.org/sites/default/files/publications/naccrra_publications/2012/protectingchildreninchildcareemergencies.pdf
- National Association for Family Child Care (2006). *Health standards for NAFCC accreditation*. Salt Lake City: National Association for Family Child Care.
- National Association for Sport and Physical Education (2009). *Active Start: a statement of physical activity guidelines for children birth to five years*. 2nd ed. Reston, VA: NASPE Publications.
- National Center on Shaken Baby Syndrome (2015). *All about SBS/AHT*. Retrieved from <https://www.dontshake.org/learn-more>
- National Safety Council (2009). *Playground safety*. Retrieved from http://www.nsc.org/news_resources/Resources/Pages/PlaygroundSafety.aspx#.U014bIdV8E
- Nemours Center for Children's Health Media (2013). *Baby basics: Diapering your baby*. Retrieved from http://kidshealth.org/parent/pregnancy_center/newborn_care/diapering.html#
- Nemours Center for Children's Health Media (2011). *Keeping kids safe and secure*. Retrieved from http://kidshealth.org/parent/firstaid_safe/outdoor/auto_baby_toddler.html#
- New Hampshire Child Development Bureau, Child Care Licensing Unit, Child Care Resource and Referral Network, NH Emergency Management of Department of Safety and Easter Seals NH. (n.d.). *Family child care emergency preparedness guide*. Retrieved February 27, 2015, from <http://www.dhhs.nh.gov/dcyf/cdb/documents/famcareprepguide.pdf>
- North Carolina Child Care Health & Safety Resource Center (2011). *Daily health check*. Retrieved from http://www.healthychildcarenc.org/PDFs/daily_health_check.pdf
- North Carolina Child Care Health and Safety Resource Center (2011). *Steps to administering medication*. Retrieved from <http://www.healthychildcarenc.org>
- Parents Central (2017). *Car seat recommendations for children*. Retrieved from <https://www.safercar.gov/parents/CarSeats/Right-Seat-Age-And-Size-Recommendations.htm?view=full>
- Parents Central (2013). *Children in cars heatstroke prevention tips for parents and caregivers*. Retrieved from <https://www.safercar.gov/parents/>
- Penn State Extension (2015). *Taking the fear out of food allergies*. Retrieved from https://bkcmhost.psu.edu/documents/HO_FoodAllergies-article.pdf
- Prevent Child Abuse Hawaii (2015). *Never shake a keiki (child)*. Retrieved from <http://www.preventchildabusehawaii.org/brochures-and-tips.html>
- Sachs, M. & Tombrello, S. (2000). *Car seat safety: When buckling up isn't always enough*. Retrieved from http://www.carseat.org/Resources/Sachs_CSS.pdf
- Safe Kids Worldwide (2014). *Poison*. Retrieved from http://www.safekids.org/safetytips/field_risks/poison?gclid=Ci71mq_P4L0CFY6Rfgode2UAvQ
- Safe Kids Worldwide (2014). *Safety tips*. Retrieved from <https://www.safekids.org/safetytips/>

参考文献

- Safe Kids Worldwide (2013). *Swimming safety tips*. Retrieved from http://www.safekids.org/sites/default/files/documents/swimming_safety_tips2_0.pdf
- Safe Kids Worldwide (2013). *Water safety at home*. Retrieved from http://www.safekids.org/sites/default/files/documents/water_safety_tips.pdf
- Safe to Sleep Public Education Campaign (2013). *What does a safe sleep environment look like?* Retrieved from http://www.nichd.nih.gov/sts/about/environment/room/Pages/text_alternative.aspx
- Strasburger V.C. (2011). *Children, adolescents, obesity, and the media*. *Pediatrics*. Jul 2011; 128(1):201-208
- South Los Angeles Health Projects (2004). *How to store breast milk*. Retrieved from: http://breastfeedla.org/wp-content/uploads/sites/2/2013/11/p9e_How_to_Store_Breastmilk.pdf
- State of Hawai'i Department of Health (DOH) Immunization Branch (2015). *Important Notice to Parents: School Health Requirements*. Retrieved from <http://health.hawaii.gov/docd/requirements-by-grade/school-health-requirements-brochures/>
- Trust for America's Health and the Robert Wood Johnson Foundation (2014). *The state of obesity: Better policies for a better America*. Retrieved from <http://stateofobesity.org/states/hi/>
- U.S. Consumer Product Safety Commission, Office of Information and Public Affairs (2011). *Lock up poisons*. Retrieved from <http://www.cpsc.gov/PageFiles/114224/382.pdf>
- U.S. Consumer Product Safety Commission (2008). *Childproofing your home: 12 safety devices to protect your children*. Retrieved from <https://www.cpsc.gov/safety-education/safety-guides/kids-and-babies/childproofing-your-home-12-safety-devices-protect>
- U.S. Consumer Product Safety Commission (2012). *For kids' sake: Think toy safety by knowing toy dangers*. Retrieved from [https://www.cpsc.gov/s3fs-public/281\(1\).pdf](https://www.cpsc.gov/s3fs-public/281(1).pdf)
- U.S. Consumer Product Safety Commission (2012). *Toy-related deaths and injuries: Calendar year 2012*. Retrieved from <https://www.cpsc.gov/Research--Statistics/Injury-Statistics/>
- U.S. Consumer Product Safety Commission & Kaboom (2001). *Is your home playground a safe place to play?* Retrieved from <https://www.cpsc.gov/s3fs-public/pg1.pdf>
- U.S. Department of Agriculture (2015). *ChooseMyPlate.gov*. Retrieved from <http://www.choosemyplate.gov/>
- U.S. Department of Agriculture and U.S. Department of Health and Human Services (2013). *Nutrition and wellness tips for young children: Provider handbook for the child and adult care food program*. Alexandria, VA. Retrieved from <http://www.fns.usda.gov/tn/nutrition-and-wellness-tips-young-children-provider-handbook-child-and-adult-care-food-program>
- U.S. Department of Health and Human Services (HHS) (2015). *Vaccines.gov*. Retrieved from <http://www.vaccines.gov/>
- U.S. Department of Health and Human Services, Centers for Disease Control and Prevention (CDC), National Center for Chronic Disease Prevention and Health Promotion, Division of Nutrition, Physical Activity and Obesity (2015). *Nutrition, Physical Activity and Obesity Data, Trends and Maps web site*. Retrieved from <http://www.cdc.gov/nccdphp/DNPAO/index.html>.
- U.S. Department of Health and Human Services, National Institutes of Health & Eunice Kennedy Shriver National Institute of Child Health and Human Development (2007). *Infant sleep position and SIDS: Questions and answers for health care providers*. Retrieved from http://www.nichd.nih.gov/publications/pubs/Documents/SIDS_QA-508-rev.pdf
- U.S. Environmental Protection Agency, Poison Control Center (2012). *Poison proof your home: One room at a time*. Retrieved from <https://www.epa.gov/sites/production/files/2015-10/documents/roombyroom-checklist.pdf>
- Yuen, S., Fong, G.F., & Nielsen, S. (Eds.) (1998). *Family Resource Kit. Food Safety*. Honolulu, HI: University of Hawai'i at Mānoa, Center on the Family.
- Yuen, S., Fong, G.F., & Nielsen, S. (Eds.) (1998). *Family Resource Kit. Indoor safety*. Honolulu, HI: University of Hawai'i at Mānoa, Center on the Family.
- Yuen, S., Fong, G.F., & Nielsen, S. (Eds.) (1998). *Family Resource Kit. Outdoor safety*. Honolulu, HI: University of Hawai'i at Mānoa, Center on the Family.
- Yuen, S., Fong, G.F., & Nielsen, S. (Eds.) (1998). *Family Resource Kit. Safe healthy home*. Honolulu, HI: University of Hawai'i at Mānoa, Center on the Family.

付録

Appendix A

SAMPLE DAILY HEALTH CHECKLIST

CHECKLIST FOR A HEAD TO TOE CHECK	NO	YES, COMMENTS
Shows a change in behavior or mood: less active, less energy, more sleepy, easily irritated		
Looks different from normal		
Complains of not feeling well		
Has itchy skin or scalp		
Is pulling at ear		
Has drainage from the eyes		
Has a runny nose		
Is coughing severely		
Has skin rash or discoloration		
Has drainage from an open sore		
Has unusually warm or flushed (red) skin		
Eating or drinking more or less than usual		
Is vomiting		
Has abnormal stools: white bowel movement, gray bowel movement, diarrhea, or unusual odor		
Is not urinating		
Is off balance or walks unevenly		

Adapted from North Carolina Child Care Health & Safety Resource Center

Appendix B

SAMPLE CONSENT FORM FOR THE ADMINISTRATION OF MEDICATION

I, (print name) _____, authorize _____
to give my child _____ the prescribed dose of medication as follows:

Name of Medication: _____ Dose: _____

At the following time(s): _____

On the following date(s): _____

Prescribed by Dr. _____

Further, I agree to hold harmless and indemnify _____ (name of care provider or center) _____ for any charges or damages not covered by insurance, arising out of mistakes in administering the medication.

Parent (signature): _____ Date: _____

Date of prescription: _____ Name of prescription: _____

Medication must be in its original container.

Long term medication must be renewed every 3 months.

Possible side effects if any: _____

Physician's Name: _____

Physician's Signature: _____ Date: _____

For Care Provider to Complete

Date prescription was filled (must be current): _____

Physician's directions for use: _____

Child's own name on label: _____

Record of Dispensation

DATE	DAY OF THE WEEK	AUTHORIZED STAFF'S SIGNATURE	TIME ADMINISTERED
_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____

Appendix C

ROUTINE SCHEDULE FOR CLEANING, SANITIZING, AND DISINFECTING

AREAS	BEFORE EACH USE	AFTER EACH USE	DAILY (At the End of the Day)	WEEKLY	MONTHLY	COMMENTS
FOOD AREAS						
Food preparation surfaces	Clean, Sanitize	Clean, Sanitize				Use a sanitizer safe for food contact
Eating utensils & dishes		Clean, Sanitize				If washing the dishes and utensils by hand, use a sanitizer safe for food contact as the final step in the process; Use of an automated dishwasher will sanitize
Tables & highchair trays	Clean, Sanitize	Clean, Sanitize				
Countertops		Clean	Clean, Sanitize			Use a sanitizer safe for food contact
Food preparation appliances		Clean	Clean, Sanitize			
Mixed use tables	Clean, Sanitize					Before serving food
Refrigerator					Clean	
CHILD CARE AREAS						
Plastic mouthed toys		Clean	Clean, Sanitize			
Pacifiers		Clean	Clean, Sanitize			Reserve for use by only one child; Use dishwasher or boil for one minute
Hats			Clean			Clean after each use if head lice present
Door & cabinet handles			Clean, Disinfect			
Floors			Clean			Sweep or vacuum, then damp mop, (consider micro fiber damp mop to pick up most particles)
Machine washable cloth toys				Clean		Launder
Dress-up clothes				Clean		Launder
Play activity centers				Clean		
Drinking Fountains			Clean, Disinfect			
Computer keyboards		Clean, Sanitize				Use sanitizing wipes, do not use spray
Phone receivers			Clean			

continued on next page

Appendix C

ROUTINE SCHEDULE FOR CLEANING, SANITIZING, AND DISINFECTING

continued from previous page

AREAS	BEFORE EACH USE	AFTER EACH USE	DAILY (At the End of the Day)	WEEKLY	MONTHLY	COMMENTS
TOILET & DIAPERING AREAS						
Changing tables		Clean, Disinfect				Clean with detergent, rinse, disinfect
Potty chairs		Clean, Disinfect				
Hand washing sinks & faucets			Clean, Disinfect			
Countertops			Clean, Disinfect			
Toilets			Clean, Disinfect			
Diaper pails			Clean, Disinfect			
Floors			Clean, Disinfect			Damp mop with a floor cleaner/ disinfectant
SLEEPING AREAS						
Bed sheets & pillow cases				Clean		Clean before use by another child
Cribs, cots, & mats				Clean		Clean before use by another child
Blankets					Clean	

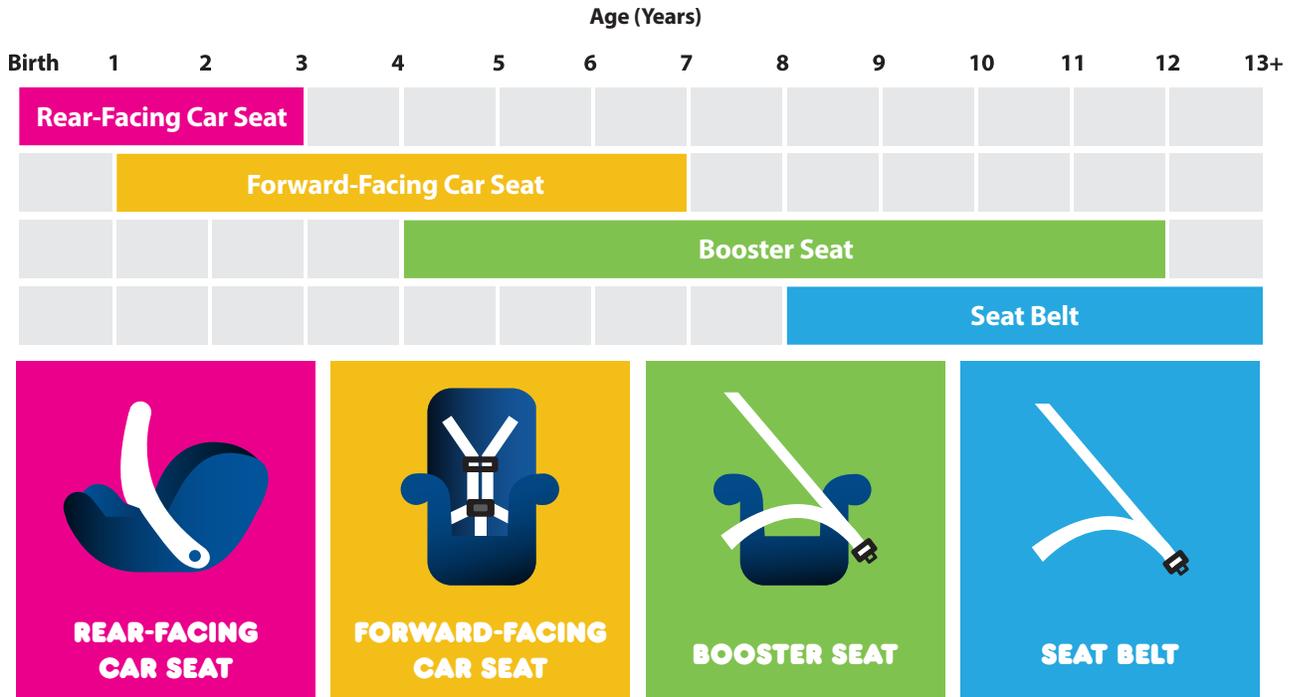
Adapted from Caring for Our Children: National Health and Safety Performance Standards; Guidelines for Early Care and Education Programs, Third Edition

Appendix D

CAR SEAT RECOMMENDATIONS

Car Seat Recommendations for Children

There are many car seat choices on the market. Use the information below to help you choose the type of car seat that best meets your child’s needs.



- Select a car seat based on your child’s age and size, choose a seat that fits in your vehicle, and use it every time.
- Always refer to your specific car seat manufacturer’s instructions (check height and weight limits) and read the vehicle owner’s manual on how to install the car seat using the seat belt or lower anchors and a tether, if available.
- To maximize safety, keep your child in the car seat for as long as possible, as long as the child fits within the manufacturer’s height and weight requirements.
- Keep your child in the back seat at least through age 12.

Adapted from www.safercar.gov

Appendix E

POISON PROOF YOUR HOME: ONE ROOM AT A TIME PESTICIDE POISON PREVENTION CHECKLIST

Pesticide Poison Prevention Checklist	
Questions	Action Steps
Bathroom	
Did you inspect the bathroom and move toilet bowl cleaners, medicine, cosmetics, tile cleaners, bathroom deodorizers, mouthwash, and other personal hygiene products out of reach from small children in a high, locked cabinet?	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <ul style="list-style-type: none"> ■ Re-close containers if interrupted during an application (e.g. phone call or doorbell). Make sure all harmful containers are fully sealed and out of a child's reach during temporary absence.
Are all medications and pesticide products, such as bathroom cleansers and mouthwashes, tightly sealed with child-resistant caps?	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <ul style="list-style-type: none"> ■ Read the Label First. Follow all directions exactly as they are written on the label, including any noted precautions and product restrictions.
Bedroom	
Did you store items like mothballs, cosmetics, hair sprays, colognes, nail polish remover, and medicine products in a locked cabinet away from a child's reach?	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <ul style="list-style-type: none"> ■ Mothballs should be hung in containers. If such products are used in closets or chests, they should be stored out of children's reach.
Living Room	
Have you placed all ant or roach baits and rodent pellets out of children's reach?	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <ul style="list-style-type: none"> ■ Place roach and rodent baits in areas where children can not touch them. If possible, place rodent bait in a tamper-resistant bait station.
Kitchen	
Did you store hazardous products like bleach, bug spray, drain cleaners, ammonia, floor wax, furniture polish, and disinfectants up high in a locked cabinet?	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <ul style="list-style-type: none"> ■ If items cannot be moved up high, install safety latches on lower cabinets to keep children out.
Did you store household cleaning products, such as dishwashing detergent, disinfectants, oven and window cleansers, and drain cleaners in a place away from food?	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <ul style="list-style-type: none"> ■ Pesticides and foods should never be stored on the same shelf as pesticides may be mistaken for food.
Are all kitchen cleanser, drain opener, and ammonia substances in their original containers?	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <ul style="list-style-type: none"> ■ Keep all substances in their original containers. Using beverage bottles or cans for storing cleaning liquids and other household mixtures is very dangerous and may be mistaken for a drink. Plus, labels on original containers give first-aid information in case of accidental poisoning.
Are all cleaning liquids and medicines properly sealed?	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <ul style="list-style-type: none"> ■ Keep potentially hazardous cleaning products and medicines properly closed while using, even if a container is briefly left unattended.
Garage	
Did you store gasoline, kerosene, car wax and soaps, weed killers, pesticide sprays, paint, windshield washer fluid, and anti-freeze substances up high out of the reach of young children?	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <ul style="list-style-type: none"> ■ Poisonous anti-freeze tastes sweet to dogs and cats—clean up spills and leaks immediately.
Have you stored all hazardous fluids and pesticides high in a locked cabinet where children can't gain access?	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <ul style="list-style-type: none"> ■ Store all hazardous fluids and pesticides high in locked cabinets where children can't gain access.
Laundry Room	
Are chemicals and laundry detergents or softeners out of the reach of young children?	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <ul style="list-style-type: none"> ■ Using bottles and cans for storing detergents can be dangerous. Also, labels on original containers provide critical first-aid instruction in case of accidental poisoning.
Is the bleach container closed properly?	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <ul style="list-style-type: none"> ■ Keep all laundry and cleaning substances in their original containers.
<p>For more information on pesticides or pesticide poisoning prevention, refer to EPA's Pesticides Program Web site at www.epa.gov/pesticides, or call the National Pesticide Information Center at 1-800-858-7378.</p>	

Appendix F

FIRST AID CHECKLIST

Your first aid kit should contain:

- 1. Disposable nonporous gloves (latex free recommended)
- 2. Scissors
- 3. Tweezers
- 4. A non-glass thermometer, “baby safe” version if infants are being cared for
- 5. Bandage tape (latex free)
- 6. Sterile gauze pads
- 7. Flexible roller gauze
- 8. Triangular bandages
- 9. Safety pins
- 10. Pen/pencil and notepad
- 11. Cold pack
- 12. Current first aid guide
- 13. Liquid soap (to be used with water) or moist towelettes for cleaning wounds
- 14. Hand sanitizer (not to be used on children under the age of 24 months) to be used if no water is available
- 15. Adhesive strip bandages
- 16. Plastic bags for disposal of cloth, gauze, and other materials used in handling bodily fluids
- 17. Emergency phone numbers, including phone numbers for parents and legal guardians

Appendix G

SAMPLE EMERGENCY PREPAREDNESS PLAN

PURPOSE: This plan establishes emergency procedures to be followed during the time I am in charge of individuals under my care. The plan covers fire, tsunami, flooding, earthquake, hurricane/tropical storm, and other hazards as deemed appropriate.

1. FIRE:

- a. The signal for fire is:

We will leave according to the posted evacuation plan and proceed to:

We will return to the facility when given permission by the Fire Department.

- b. Should the facility be damaged by fire, we will be housed temporarily at:

We will call all families for further information and action.

- c. Drills will be held periodically.

2. TSUNAMI:

I will take the following actions based on the Tsunami Evacuation Zone Maps.

The facility IS NOT in the Evacuation Zone. We will not evacuate when a tsunami watch or warning is issued.

The facility IS in the Evacuation Zone. The following procedures have been adopted:

- a. TSUNAMI WATCH - We will immediately begin preparing for the issuance of a Tsunami Warning and evacuation.
- b. TSUNAMI WARNING - When we hear the sirens, we will begin to evacuate and continue to monitor official emergency broadcasts.
- c. If a Tsunami Warning is issued, we will evacuate to:
-
- d. We have prepared survival kits and will take them with us when we evacuate. We will attempt to call all families once the official "All Clear" is announced.

3. HURRICANE/TROPICAL STORM:

- a. WATCH: We will monitor the storm and make preparations to evacuate in the event a Warning is issued. Watches are typically issued far enough in advance to allow time to close the facility in an orderly manner, or to remain closed if we are not yet open for the day.

- b. The Hurricane/Tropical Storm public evacuation shelter closest to this facility is:

continued on next page

Appendix G

SAMPLE EMERGENCY PREPAREDNESS PLAN

continued from previous page

4. EARTHQUAKE:

- a. If we are inside when an earthquake occurs, we will stay inside and immediately take cover under desks or tables, in supported doorways, etc.
- b. If outdoors, we will stay outdoors and move toward the open field that is away from electrical lines, tall buildings, and trees.
- c. If the facility is not damaged, we will remain in place and listen for official emergency instructions. I have made necessary preparations for us to survive in place for up to 72 hours without outside assistance.
- d. If the facility is damaged, we will gather our survival kits and attempt to move to shelter at:

5. FLOODING:

- a. If instructed by civil authorities to evacuate or if water begins to rise around the facility, we plan to gather the survival kits and immediately move to higher ground at:

6. OTHER HAZARDS:

- a. If instructed to shelter in place (e.g., due to airborne hazardous materials, terrorist threat, or other community emergencies), I will close and lock all windows and doors, and evacuate everyone to a room in the center of the site farthest from the outside and keep a low profile. I will await further instructions from authorities.
- b. If necessary to evacuate the facility, we will use the following evacuation plan and move to the designated shelter or another shelter as directed by civil authorities. I will attempt to contact the families as soon as possible. In the meantime, I urge families to listen to official emergency broadcasts for more information.

EVACUATION PLAN:

Evacuation routes/exits:	_____ # of doors on ground level _____ # of windows on ground level _____ Exit over stairs will be required
Evacuation infants/toddlers:	State how you will get non-mobile infants out safely
Notification:	<ul style="list-style-type: none"> ▫ Once all children are evacuated: ▫ 911 will be called ▫ Parents will be notified
Emergency kits/Information:	State where the kit and family contact information is stored
Evacuation sites:	<ul style="list-style-type: none"> ▫ In neighborhood: _____ ▫ Out of neighborhood: _____
Transportation to evacuation locations:	<ul style="list-style-type: none"> ▫ By car with (#) _____ car safety seats ▫ On Foot

Adapted from Hawai'i Department of Emergency Management

Appendix H

EMERGENCY SUPPLY TOOL KIT

Emergency Supply Tool Kit

	Short Term Emergency	72-Hour Emergency
8 Basic Supplies	Evacuation Backpack	Sturdy, waterproof, covered container with a cover
Important Papers	<input type="checkbox"/> Emergency information on each child in a small notebook or on child identification cards <input type="checkbox"/> Emergency plans and number <input type="checkbox"/> Medical Releases <input type="checkbox"/> Relocation site agreements and Maps	<input type="checkbox"/> Emergency Transportation Permission
Water	<input type="checkbox"/> One gallon of water for every four children/staff	<input type="checkbox"/> ½ gallon of water per child and 1 gallon per adult
Food	<input type="checkbox"/> Non-perishable food items such as granola bars and crackers <input type="checkbox"/> Formula for infants <input type="checkbox"/> Disposable cups	<input type="checkbox"/> Non-perishable food items such as canned fruit and meat <input type="checkbox"/> Appropriate eating utensils <input type="checkbox"/> Special food for infants <input type="checkbox"/> Non-electric can opener
Clothing& Bedding	<input type="checkbox"/> Aluminum safety blankets <input type="checkbox"/> Pair of work gloves	<input type="checkbox"/> Change of clothes per person, especially socks <input type="checkbox"/> Extra bedding/blankets
First Aid	<input type="checkbox"/> Small First Aid kit <input type="checkbox"/> Any needed medications	<input type="checkbox"/> Large First Aid kit <input type="checkbox"/> Any needed medications
Sanitation	<input type="checkbox"/> Diapers and wipes <input type="checkbox"/> Toilet paper <input type="checkbox"/> Hand sanitizer	<input type="checkbox"/> Additional diapers and wipes <input type="checkbox"/> Additional toilet paper and emergency toilet facilities, if possible <input type="checkbox"/> Hand soap <input type="checkbox"/> Paper towels <input type="checkbox"/> Plastic bags (varied sizes) <input type="checkbox"/> Feminine supplies
Comfort and Safety	<input type="checkbox"/> At least one age appropriate play activity <input type="checkbox"/> Flashlight with batteries <input type="checkbox"/> Pencils <input type="checkbox"/> Blank paper or notebook	<input type="checkbox"/> Several age appropriate play activities to rotate <input type="checkbox"/> Extra keys <input type="checkbox"/> Matches and candles <input type="checkbox"/> Duct tape and plastic sheeting (for sheltering-in-place) <input type="checkbox"/> Utility knife
Communication	<input type="checkbox"/> Weather radio and extra batteries <input type="checkbox"/> Charged cell phone or calling card	<input type="checkbox"/> Walkie-talkie <input type="checkbox"/> Cell phone <input type="checkbox"/> Signal/flare

- Decide which supplies are a priority. Request donation from families and community. Date your supplies and keep an inventory.
- Yearly or every six months: Rotate your food, water, and medical supplies in your daily operations before expiration date. Update important papers; check sizes of clothing and age appropriateness of activity.

Adapted from Family Child Care Emergency Preparedness Guide

Learning to Grow Project

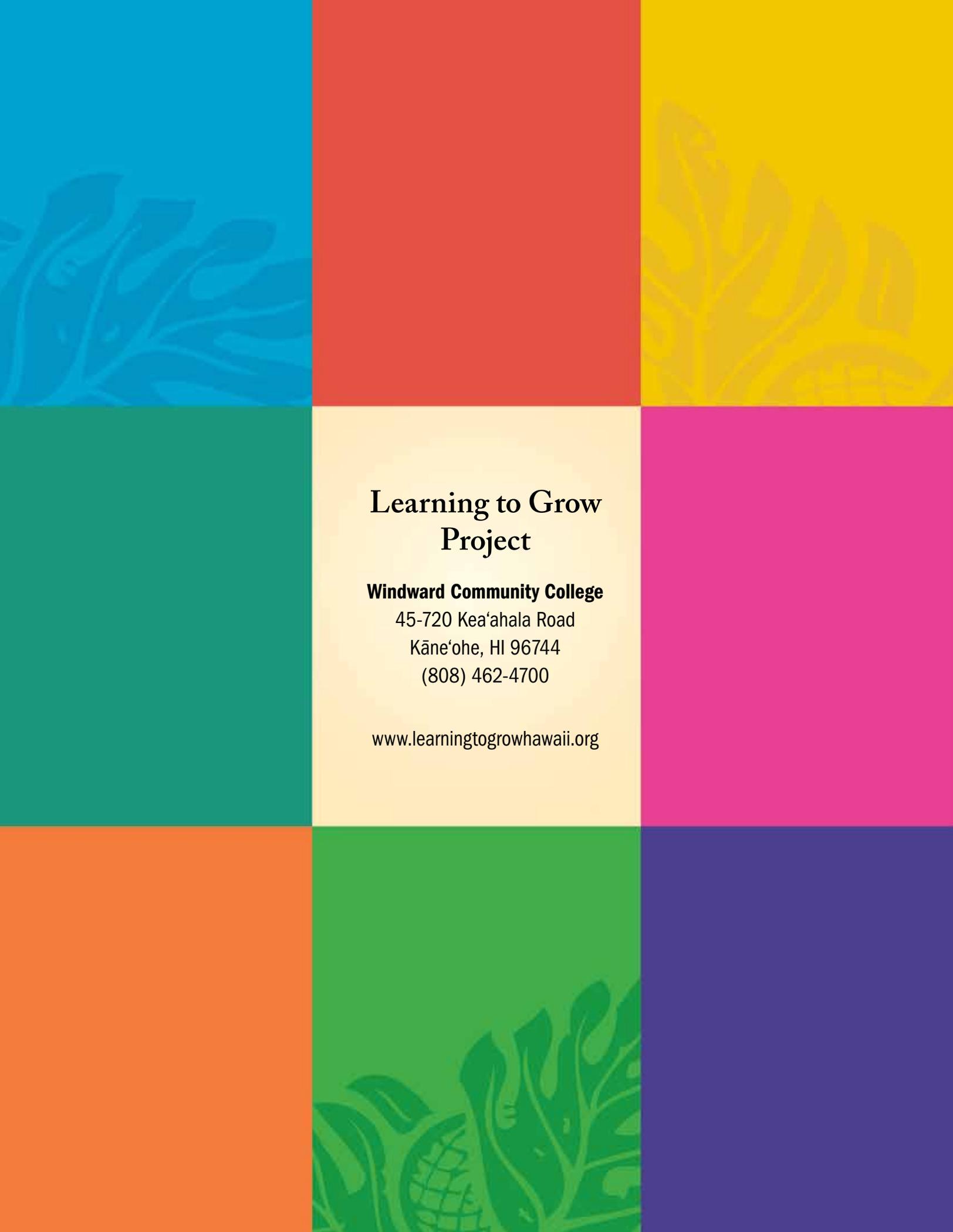
Windward Community College

45-720 Kea'ahala Road

Kāne'ohe, HI 96744

(808) 462-4700

www.learningtogrowhawaii.org



Learning to Grow Project

Windward Community College

45-720 Kea'ahala Road

Kāne'ohe, HI 96744

(808) 462-4700

www.learningtogrowhawaii.org